

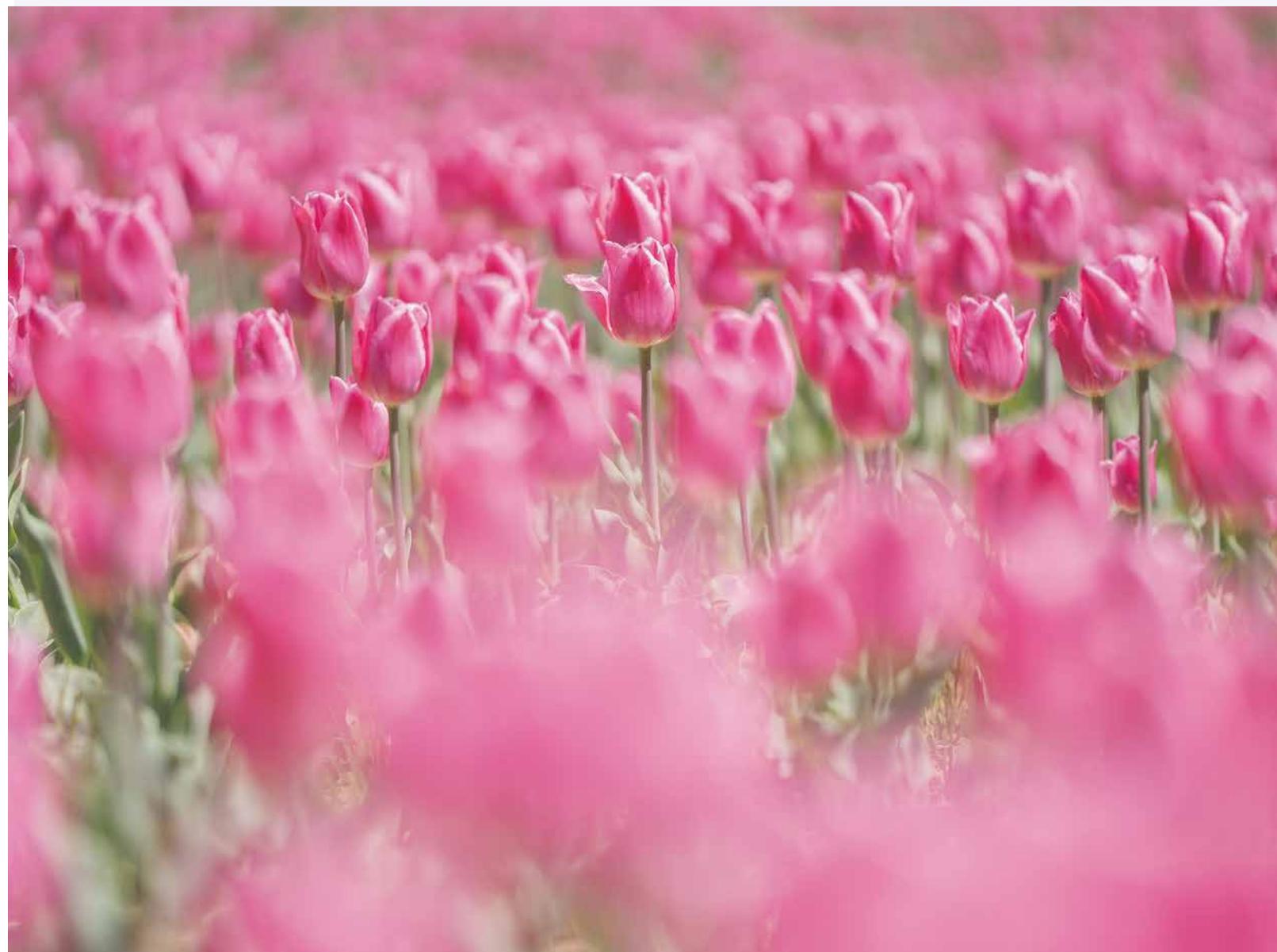
岩手県薬剤師会誌

イハトゴ

第103号
2024

巻頭言・寄稿・会務報告・理事会報告・委員会の動き・
地域薬剤師会の動き・薬連だより・最近の話題・質問に答えて・
リレーエッセイ・話題のひろば・職場紹介・保険薬局の動き・
会員の動き・求人情報・図書紹介

編集・発行／一般社団法人岩手県薬剤師会 令和6年5月31日



岩手県医薬品卸業協会

株式会社スズケン岩手

〒020-0125 岩手県盛岡市上堂4-5-1

☎019(641)3311

東邦薬品株式会社岩手営業部

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-7-15

☎019(646)7130

東北アルフレッサ株式会社岩手営業部

〒020-0846 岩手県盛岡市流通センター北1-4-7

☎019(637)3333

株式会社バイタルネット岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-1-12

☎019(638)8891

株式会社メディセオ北海道・東北支社岩手営業部

〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋第5地割6-26

☎0198(26)0552



検査を選んだ薬剤師

(一社)岩手県薬剤師会

理事 吉田 雄樹

巻頭言を新任理事が順番に書くと聞いてから自分の番はまだ先だと思っていたのですが、ついにその時が来てしまいました。何を書こうか悩んでいましたが、自分が一番特色を出せるとしたら、薬剤師会検査センターに勤めているため調剤には疎いですが検査に詳しい薬剤師である点だろうと思います。そこで、自己紹介を兼ねて、自分が検査センターで働き始めた頃から今までを振り返り、思い出したことを綴っていきます。

私は就職活動を始めるまで、薬剤師の仕事と言えば調剤であり、ほかにどのような職があるかはほとんど知りませんでした。そのため、検査機関が薬剤師を募集していることや薬剤師会が検査センターを運営していることは、検査センターの採用情報を見つけて初めて知りました。当時、水道水や河川水などの環境試料、温泉、食品、そして医薬品などを検査する仕事と聞いて、急に興味を持ったことを覚えています。検査センターの場所が実家からもとても近かったことから運命的なものを感じ、調剤の道ではなく検査センターへと志願しました。

平成22年(2010年)に入職して初期教育を受けながら、初めて行った業務が貝毒検査のためのホタテ貝の殻剥きでした。就職したばかりの頃にどんな仕事をしているか聞かれた時にはホタテの殻剥きをしていると答えて、それが薬剤師になって選んだ仕事なのかと困惑させて楽しんでいました。同年5月には現在の上堂3丁目に新築された建物に移転し、綺麗な職場にやる気が上がっていました。

翌年平成23年(2011年)3月には東日本大震災がありました。地震発生時には細菌検査室内の椅子に座っていましたが、恒温水槽の水が揺れてあふれたり、重ねたシャーレが棚から落ちたりと凄まじい揺れであったことを覚えています。幸いなことに、職員や設備に大きな被害はありませんでした。その後福島原子力発電所の事故を受け、夏には放射線測定用の機器を導入し検査を開始しました。当時は事故の影響の大きさをあまり理解してなく、どれだけ検査が必要とされるかも分かっていませんでしたが、ある場所の牧草を検査したら想像以上の放射性セシウムを検出し、事故

が現実のものであると感じたことを今でも覚えています。放射性物質の検査結果を依頼者に伝えると、検出しなかった場合には安心したという反応がほとんどでした。検出した場合には困惑される方が多かったのですが、検査して良かったと言って下さる方もいて、目に見えないものを明らかに出来るという検査の価値を強く意識しました。その後も多くの検査依頼があり、13年以上経過した今でも検査は続いており、改めてあの事故の影響の大きさを恐ろしく感じます。

その他にも様々な業務に取り組んできましたが、主な担当となっているのは微生物検査と医薬品検査になります。微生物検査では食品の賞味期限を設定する目的の依頼や水道水の法律に基づく検査などを行います。これらの検査は、食中毒菌の有無を明らかにすることや細菌の数を数値化することで、食べ物や水といった口に入るものの安全・安心に役立てられています。薬の知識を活用して患者様の健康や安心のために働く薬剤師とは違った仕事になりましたが、利用者の健康や安全に係しているという点では似ているかもしれません。医薬品の検査では、主に調剤薬局等の品質管理のための検査を行っています。医薬品医療機器等法の施行規則のなかに、薬局開設者は、医薬品の適切な管理のために必要と認める医薬品の試験検査を行わせなければならないと定められています。そして薬局でその試験検査が困難な場合、厚生労働大臣の登録を受けた試験検査機関を利用できるとしています。この登録をするためには検査機関に薬剤師が必要であり、これが検査センターで薬剤師を募集する理由となっていました。品質管理以外では、表示のない試薬が何か調べて欲しいといったことや、時間が経過した際の安定性の調査をして欲しいといったこともありました。

令和4年(2022年)7月には県薬剤師会から検査センターが分離独立いたしました。関係は少し遠ざかったかもしれませんが、県薬剤師会で行っていた計画的試験等は継続しております。今後も検査をする薬剤師として皆様の力になれるよう、また、県薬剤師会の発展のために努めてまいりますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

★★★ もくじ ★★★

巻頭言……………	1	質問に答えて……………	26
寄稿……………	4	おすすめの一冊……………	29
会務報告……………	10	話題のひろば……………	30
行事予定……………	11	リレーエッセイ……………	32
受賞おめでとうございます……………	12	職場紹介……………	33
理事会報告……………	13	会員の動き……………	35
委員会の動き……………	14	保険薬局の動き……………	38
地域薬剤師会の動き……………	18	求人情報……………	39
薬連だより……………	20	図書紹介……………	41
最近の話題……………	22	編集後記……………	42

一般社団法人岩手県薬剤師会 第76期定時総会開催のお知らせ

第76期定時総会を下記のとおり開催いたします。

総会は会員から選挙により選出された「代議員」によって開催されます。代議員の方々には別途ご案内申し上げますのでご出席くださいますようお願い申し上げます。

期 日 令和6年6月16日（日）午後1時～

場 所 岩手県薬剤師会館

報告事項 報告第1号 令和5年度岩手県薬剤師会会務並びに事業報告について

決議事項 議案第1号 令和5年度決算の承認について

議案第2号 令和5年度決算剰余金処分承認について

議案第3号 理事選任について

議案第4号 監事選任について

令和6年5月17日

会 員 各 位

一般社団法人岩手県薬剤師会
会長 畑澤 博巳

一般社団法人岩手県薬剤師会
監事選挙並びに候補者届出受付に関する告示

令和6年6月16日に、本会の第76期定時総会を開催いたします。その際、本会の「定款」、「一般社団法人岩手県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則」、「同施行細則」により、2年後の定時総会までを任期とする次期監事2名を定数とする選挙を行います。

つきましては、自ら候補者になろうとする正会員、候補者を推薦しようとする正会員は、下記により届け出て下さい。

記

- (1) 候補者の資格は、令和6年4月17日までに、本会への正式入会手続きを完了している正会員に限ります。
- (2) 届出の受付期間は、令和6年5月17日から5月31日までの午前9時から午後5時までとし、本会事務局（盛岡市馬場町3-12）で受け付けます。但し土曜日、日曜日と祝日を除きます。
- (3) 届出の締切日時は、令和6年5月31日午後5時です。締切日時後の届出は受け付けられません。郵送による場合は、必ず書留をご利用下さい。締切日時までに到着したものを有効とします。締切日時後に到着したものは無効とします。
- (4) 立候補届出書（又は候補者推薦届出書と承諾書）をはじめ、必ず添付しなければならない書類の様式は全て規定されております。届出関係書類一式あるいは本会定款等諸規定は、ご請求下されば郵送いたします。
- (5) 本会ホームページに、選挙に関する関係規程を掲載しましたのでご覧下さい。

お問い合わせは、本会事務局へお願いします。

以上

学校薬剤師部会の今後の活動について ～現役学校薬剤師への一斉アンケートから見たこと～

岩手県薬剤師会 学校薬剤師部会
高橋 弘二・田川 恵・畑澤 昌美

はじめに

一昨年、「岩手県学校薬剤師会」は日本薬剤師会の組織改編に併せ、独立した職域組織から薬剤師会の職域部会である「岩手県薬剤師会 学校薬剤師部会」として規約も新たに活動を開始いたしました。部会となっても学薬活動に変わりはありませんが、新たな活動計画を作成するにあたり現役学校薬剤師へ学薬活動アンケートを一斉に実施いたしました。

このたびは「県薬会誌イーハトープ」への寄稿というかたちをとり、今回のアンケート回答から見てきた学校薬剤師活動の実情や抱えている諸問題、学校や行政との関りについて学校薬剤師以外の皆様へも周知の機会を頂きましたこと感謝申し上げますとともに、この結果から見てきた課題・今後の学校薬剤師部会の活動の方向性について述べさせていただきます。

《アンケート内容と取り纏め結果》

1. 調査の目的・背景

各地域学校薬剤師部会（以下地域学薬）からの喫緊の課題として、盛岡市以外において学校薬剤師への報酬が適正に評価されていないという実情が挙げられています。

部会としては、適正な報酬を得られるよう取り組むための実態調査が必要であり、解決するにあたり現学校薬剤師の活動状況を把握し、職務の必要性が交渉材料になると考え、下記についてアンケート調査を行うこととしました。

- ・現在一校あたりの学校薬剤師の年間報酬額
- ・学校薬剤師としての活動状況について
- ・活動が不十分である場合の要因について

2. 調査対象（岩手県薬剤師会会員）

岩手県内の全学校薬剤師

3. 調査方法

学校薬剤師部会で作成したアンケート用紙を学校薬剤師に送付し、回収後集計を実施

4. 調査期間

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）の活動について

5. 回答数

348枚アンケート用紙を送付し、353校分の回答（2枚は記載漏れにて無効）（付属学校や中高一貫校など同一敷地内の学校については、1枚/校の回答としたため送付よりも回答数が多い）

6. 調査結果の概要

報酬：地域学薬ごとに一関・北上・花巻・盛岡が高く、奥州・釜石・気仙・遠野・二戸は低い傾向にあります。

衛生検査実施率：地域学薬間での差はなく同等の仕事をしていることが確認できました。また、学校薬剤師の業務をそもそも認識できていない。それを確認する方法がない。情報・資材が足りないなどの意見が寄せられました。

情報取得方法：現在はFAX・メールや薬剤師会のホームページで取得している方が多く、今後はメールでの取得を希望している方が多いという回答が得られました。

7. 調査結果の詳細（P5～6表・グラフ参照）

①環境衛生検査実施について今年度（令和4年度）の実施状況と、未実施や省略の場合はその理由をご記入下さい。（表1）

検査実施率を縦軸、地域学業を横軸としてグラフに表すとグラフ1～9のような結果になりました。

検査未実施・省略の理由は表2・3の通りです（自由記載のため理由の全てではありません）。

照度検査・空気検査・学校への情報提供は地域学業において差はほとんどなく、プール検査や給食室は施設がない場合や外部業者が実施している場合もあり比較評価には至りませんでした。害虫やネズミについての検査やキシレン検査、ダニ・アレルゲン検査は、認識にバラつきがあり、未実施の主な理由としては「依頼がない・要件に該当しない」「機器がない」でした。

②担当校または市町村教育委員会が保有している検査機器にはどのようなものがありますか？（表4）

残留塩素測定器と照度計はどの地域学業も高い割合で保有しており、それ以外の機器は地域学業により差がありました。

「その他」内訳：pH測定器、CO₂測定器、粉塵計、放射線測定器、ホルムアルデヒド測定器、紫外線測定器など

③平均年間報酬額（単位：円）

報酬額を地域学業毎に平均値化し、グラフにまとめました。（グラフ10）

支部別の平均額で比較しても明らかな地域差が確認できます。

表1

行ラベル	支部/検査実施数(率)	衛生検査(照度)	衛生検査(プール検査)	衛生検査(温度・湿度・CO ₂ 濃度)	学校への情報提供	衛生検査(給食室検査)	薬物乱用防止教室	衛生検査(清潔・害虫・ネズミ)	衛生検査(キシレン)	衛生検査(ダニ・アレルゲン)
盛岡	111	107(96%)	77(69%)	104(94%)	106(95%)	40(36%)	84(76%)	51(46%)	15(16%)	86(77%)
一関	49	44(90%)	19(39%)	47(96%)	48(98%)	10(20%)	37(76%)	17(35%)	4(8%)	21(43%)
花巻	40	39(98%)	28(70%)	39(98%)	39(98%)	30(75%)	30(75%)	35(88%)	14(35%)	35(88%)
久慈	31	31(100%)	14(45%)	31(100%)	24(77%)	17(55%)	18(58%)	12(39%)	13(42%)	13(42%)
奥州	30	27(90%)	26(86%)	27(90%)	27(90%)	19(63%)	22(73%)	25(83%)	9(30%)	9(36%)
宮古	25	25(100%)	20(80%)	25(100%)	22(88%)	7(28%)	21(84%)	12(45%)	1(4%)	15(60%)
二戸	18	18(100%)	15(83%)	18(100%)	17(94%)	2(11%)	18(100%)	11(61%)	0(0%)	15(83%)
気仙	15	14(93%)	9(60%)	14(93%)	11(73%)	1(7%)	14(93%)	2(13%)	1(7%)	3(20%)
釜石	14	12(86%)	8(57%)	12(92%)	13(93%)	6(43%)	9(64%)	9(64%)	0(0%)	11(79%)
北上	13	13(100%)	5(38%)	13(100%)	13(100%)	1(8%)	13(100%)	5(38%)	1(8%)	4(31%)
遠野	7	7(100%)	7(100%)	7(100%)	7(100%)	1(14%)	7(100%)	7(100%)	0(0%)	7(100%)
総計	353	337	307	337	327	134	273	186	58	219

表2

検査未実施の理由/支部	北上	二戸	盛岡	宮古	久慈	気仙	釜石	花巻	奥州	遠野	一関	総計
依頼がなかったため	7	3	19	1	6	0	3	3	4	0	13	59
外部業者が実施	0	4	13	1	0	5	1	1	10	0	5	40
機器がないため	2	2	5	6	0	0	6	2	1	4	6	34
必要と認められなかったため	0	1	3	0	2	0	0	2	0	0	2	10
コロナ感染不安のため	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	1	5
日程調整できなかった	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	5
総計	13	18	111	25	31	15	14	40	30	7	49	153

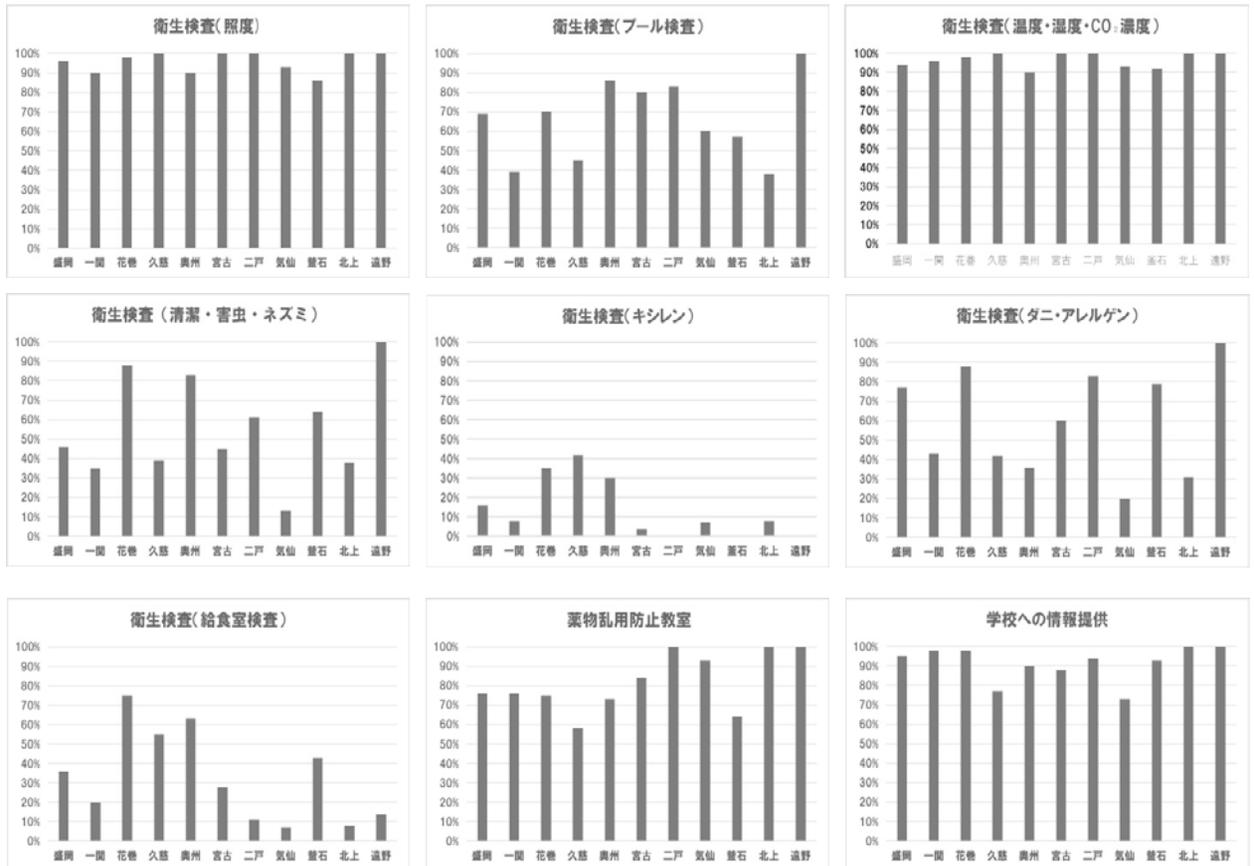
表3

検査省略の理由/支部	北上	二戸	盛岡	宮古	久慈	気仙	釜石	花巻	奥州	遠野	一関	総計
該当施設ない・検査要件に該当しない	0	3	25	3	12	4	4	11	1	3	10	76
外部業者が実施	7	2	6	0	0	1	0	1	1	0	5	23
必要と認められなかったため	0	0	4	1	0	2	0	0	2	0	0	9
機器がないため	0	1	1	0	2	0	4	0	0	0	1	9
日程が調整できなかった	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
総計	13	18	111	25	31	15	14	40	30	7	49	119

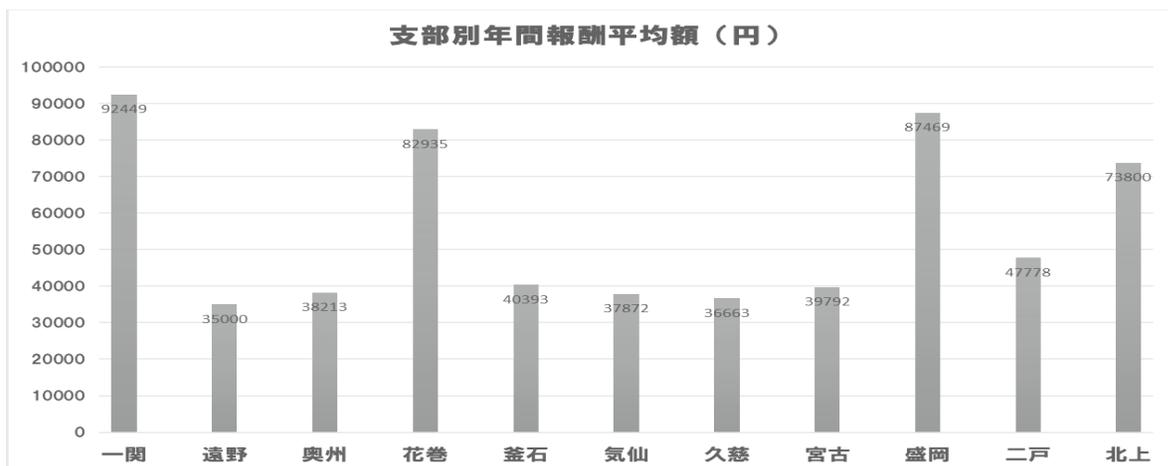
表4

支部/機器保有数(保有率)	支部	保有検査機器(アスマンの温度計)	保有検査機器(エアサンプリングネブ)	保有検査機器(気体採取機)	保有検査機器(黒板検査色票)	保有検査機器(残留値測定器)	保有検査機器(照度計)	保有検査機器(騒音計)	保有検査機器(その他)
盛岡	111	26(23%)	5(5%)	55(50%)	18(16%)	71(64%)	80(72%)	9(8%)	10(9%)
一関	49	5(10%)	4(8%)	18(37%)	7(14%)	26(53%)	33(67%)	7(14%)	8(16%)
花巻	40	9(23%)	12(30%)	19(48%)	30(75%)	32(80%)	33(83%)	1(3%)	8(20%)
久慈	31	0(0%)	0(0%)	30(97%)	0(0%)	31(100%)	30(97%)	0(0%)	1(3%)
奥州	30	24(80%)	0(0%)	22(73%)	6(20%)	29(97%)	29(97%)	4(13%)	0(0%)
宮古	25	6(24%)	2(8%)	14(47%)	2(8%)	21(84%)	23(76%)	15(60%)	2(8%)
二戸	18	13(72%)	3(16%)	17(94%)	1(6%)	16(89%)	18(100%)	1(6%)	4(22%)
気仙	15	2(13%)	1(7%)	3(20%)	1(6%)	9(60%)	5(33%)	1(7%)	0(0%)
釜石	14	8(57%)	0(0%)	10(71%)	9(64%)	11(79%)	10(71%)	11(79%)	4(29%)
北上	13	2(15%)	1(8%)	4(30%)	6(46%)	11(85%)	11(85%)	6(46%)	3(23%)
遠野	7	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	7(100%)	7(100%)	1(14%)	4(57%)
総計	353	95	28	192	80	264	279	56	44

グラフ1～9



グラフ10



④学校薬剤師活動に関する情報はどのように得ていますか？（複数回答可）

情報取得方法	回答数
FAX・メール	302 (86%)
ホームページ	174 (49%)
その他	36 (10%)
情報得ていない	10 (3%)

情報取得方法「その他」：日薬・日本学校保健会 HP 含めインターネット、研修会

⑤今後どのような方法で情報を得ることを希望するか、お考えがあればご記入ください。（複数回答可）

希望する情報取得方法	回答数
メール	293 (83%)
FAX	137 (39%)
郵送	98 (28%)
SNS	46 (13%)
その他	13 (4%)

情報取得希望方法の「その他」：YouTube、LINE、イーハトーブ、薬剤師会の HP、研修会

⑥所属支部においてどのような検査機器や情報が必要ですか？（自由記載）

- ・他の会員が具体的にどのような活動をしているのか知りたい（一関）
- ・検査基準改正などの情報、また必要検査項目の周知も必要（一関）
- ・検査機器の貸出一覧、保有機器台数の増加(全地域学薬)
- ・機器の使用方法的説明、付属の説明書がわかりやすく、県薬HPで動画配信があるとわかりやすい（全地域学薬）
- ・薬物乱用防止教室に関してスキルアップ研修やPPTなど充実してほしい（奥州・花巻・宮古）
- ・学薬の研修会を1日ではなく同じ内容を複数回（日時選択できる）実施してほしい（奥州）
- ・検査報告書 Word、Excel のひな形（花巻）
- ・環境衛生検査基準の改定情報や他の学校薬剤師の活動内容や考え方の情報など（釜石）

師の活動内容や考え方の情報など（釜石）

- ・できるかどうか別として正しい活動、他地域の状況についての情報（気仙）
 - ・CO₂ 検知管が教育委員会に問い合わせても入手できなかった。（久慈・二戸）
 - ・学校薬剤師を希望する施設と実施可能な薬剤師のマッチングがあると良い（盛岡）
 - ・学校からの問い合わせ内容やその解答内容にどのようなものがあるか（盛岡）
 - ・全項目実施に向けて機器を教育委員会に要請する。教育委員会が保有している場合、機器を確認し、場合によっては購入を勧める（盛岡）
- ⑦今後、学薬活動されるうえで気になっていること・要望・ご意見をお聞かせください。（自由記載、多数意見抜粋）
- ・担当の学校薬剤師ではない他の薬剤師が代理で薬物乱用防止教室を行っているケースがあり、疑問に思う。
 - ・一度実施し問題なければ次回以降省略できる項目について、教育委員会で業者に委託してやってほしい
 - ・学校長や養護教諭によって学校環境衛生に対する意識に温度差がある
 - ・病院薬剤師の参画が少ない。
 - ・岩手県薬剤師会の下部組織であるにも関わらず部会として会費を徴収すること、さらに地域支部においても会費を徴収することは一組織の会計として適切でないように感じる。県薬剤師会として会員全員から徴収すべきであり、関わりの有無で徴収の有無が生じるのはおかしいのではないかと
 - ・全薬局が学薬活動に参加し学校薬剤師を増やす（チェーン薬局含め）
 - ・学校薬剤師報酬額の格差是正
 - ・活動内容の情報交換の場がほしい
 - ・業者検査の結果が学校事務で保管されているため情報共有が難しい
 - ・検査機器の使用法などがいつでも確認できる動画などをHP上にほしい
 - ・検査に必要な機器を揃えて、借りる場所を複数設置してほしい
 - ・「薬物乱用防止講座」や「くすりの使い方講座」

などの資料やスライドが使えるように HP 上に欲しい

- ・後任の薬剤師がすぐに見つからず、多くの場合多忙を理由に引き受けてくれない。任期中で転勤した場合に後任に引き継ぎせず学校薬剤師の業務に支障をきたしている
- ・こども園用の検査実施の具体的なポイントを教えてください
- ・給食センター方式の場合、検査をどのようにしているのか
- ・検査機器は学校が用意するのか薬剤師会が用意するのかどちらが正しいのか？
- ・支部での定期的な勉強会や日時関係なく閲覧できるネット配信の提供
- ・認定こども園への対応について、県学薬として組織にしっかりと訴求したうえで、支部と連携して進めていただきたい
- ・文科省や日薬からの情報を、ただ転送するのではなく、「要点を整理」「内容を解説」するなど、会員が使いやすい会員目線を意識した情報の発信や対応をお願いしたい

8. 考察

今回のアンケート結果から、多くの学薬会員は活動する上での情報取得や検査機器の貸出について、何かしらの不満や悩み・不安を抱えており、報酬についても納得していないことが明らかになりました。

自由記載で要望・ご意見をいただきました内容についてお答えしながら、今後の学校薬剤師部会の活動について述べさせていただきます。

●部会会費徴収へのご指摘について・・・。

学校薬剤師は臨時嘱託職員として毎年委嘱され少額であろうとも個々で報酬を得ていることから、全県薬会員より会費を徴収するという理論はそぐわないと考えます。学薬部会は県薬へ予算請求せず活動しており、会費は貸出検査機器の購入、各種パンフレット作製・送付、DVD等の視聴覚資料購入・貸出、研修会運営・派遣費、表彰記念品などに使われております。また、各地域学薬におきましても県学薬下部組織ではなく独立組織のため、機器購入や研修会等

地域活動で予算が必要であることをご理解いただきたく思います。

●学校環境衛生検査について・・・。

検査項目や検査時期、検査機器の使用方法、検査報告書が分からないという声が多数ありました。今後、県薬HPの学薬ページをリニューアル予定です。視覚的に分かり易く、新任の方でも直ぐに活動に入れるよう考案中です。現在はHPに令和4年度第1回県学薬部会研修会を記録した動画（ユーチューブ）「学校薬剤師の活動について」「エア・サンプリング取り扱いについて」「エア・サンプリングポンプ使用の実際」を掲載しています。また、学校薬剤師必携として「学校環境衛生管理マニュアル（通称 赤本）」「学校環境衛生基準解説（通称 青本）」を一読頂くとアンケートで情報がないとご意見が多かった検査項目や方法、Q & Aの多くは解決できます。文章の解説だけでは解りづらい場合も基礎的な手技についてのDVDを県学薬より貸出しておりますのでご活用ください。

●学校薬剤師不足について・・・。

年度末に毎年悩まされている問題です。近年では地域連携薬局やかかりつけ薬剤師の認定を取得したとたん辞任する方がみられます。殆どの場合、後任が見つからず特定の方に無理を承知で複数校をお願いしている状態です。このことは今後、学校薬剤師業務に支障が出ないよう規定を設け実施する事を検討しております。更に学校薬剤師の高齢化による人員不足も考える時期に入っています。6年制卒の方は実習で経験しているためか先入観なく引受けてくださる印象があります。薬剤師としての経験はある程度必要ですが、生徒の学校環境や保健について意欲をもって積極的に関わってくださる方なら経験の長短に関係なく是非引受けていただきたいと思います。新任のサポート体制も充実させ、県内の研修会に留まらず全国的な研修会にも参加させたいと思います。

●認定こども園の学校薬剤師問題・・・。

平成18年から「認定こども園制度」が開始しています。認定こども園には3タイプあり岩手県には公立・私立を合わせると現在151施設が存在します。この施設基準に学校薬剤師を置くことが義務づけられていることはご存じて

しょうか？一部のこども園で「無報酬での名義貸」「実務実態のない学校薬剤師」がいる実情が県の抜き打ち監査により指摘されています。このことは学校薬剤師としての職務義務違反に問われる事例にあたります。「無報酬だから実務実体がなくて当然」ではなく、県学薬部会へ登録していただいた上で「正当な報酬で学校薬剤師として従事」していただきますようお願い申し上げます。

●学校薬剤師報酬の格差について・・・。

これまでも学校薬剤師報酬については日本薬剤師会を通じ文科省、岩手県薬剤師会を通じ岩手県選出自民党国会議員、岩手県学校薬剤師部会を通じ岩手県教育委員会、各地域学校薬剤師会から各地域議会、教育委員会など様々なアプローチで奏上してまいりました。現在も結果に繋がっておりませんが、今後は今回のデータをもとに更なる具体的な方策を考え、認定こども園においても正当な報酬で活動ができるよう関連各所へ働きかける所存です。また、この問題は各地域学薬において独自に活動していただく事案と考えており、地域学薬が各市町村教育委員会や議会議員等へ一層働きかけ、議論していただきますようお願い申し上げます。

さいごに

学校薬剤師の皆様にはこのたびの一斉アンケートにご協力いただき、忌憚のないご意見を頂きましたこと、今後の活動の原動力となりました。この場を借りて感謝申し上げます、今後も更なる活動をお願い申し上げます。

学校薬剤師を取り巻く状況は新型コロナウイルス感染症を境に一気に注目されるようになりました。これまでは「薬物乱用防止教室」や「おくすりの使い方」など環境衛生検査以外の活動ばかりが注目されていましたが、コロナ禍により「環境衛生は薬剤師に聞け!!」と国のお墨付きをいただきました。更に学校指導要綱では「がんやAMRを含む医薬品教育」「災害時における学校対応（避難所）」「アンチドーピング活動」「地域におけるゲートキーパー」においても学校薬剤師の活用を推奨しています。検査して終わりではなく、児童生徒やその家族の健康まで考え提案し、学校と連携しあう薬剤師が必要とされています。少しでも

興味がある、関心がある方は学校薬剤師活動に参加してみませんか？

参加のご連絡はイーハトーブ巻末に記載の岩手県薬剤師会までメールにてお願いします。

※文中に「支部」とあるのは以前、日本学校薬剤師会が存在していた時代の名残で、本県学校薬剤師部会でも便宜上「支部」と呼んでいましたが、今後は「地域学校薬剤師部会」と改めます。



会務報告



月	日	曜日	行事・用務等	場 所	参加者
4	2	火	第1回実務実習受入対策委員会	岩手県薬剤師会館	
	5	金	岩手県社会保険医療担当者（薬局）指導関係打合せ会	岩手県薬剤師会館	会長ほか
	9	火	令和6年能登半島地震災害義援金贈呈式	日本赤十字社岩手県支部	会長、藤原
	11	木	MCL専門学校グループ7校合同入学式	マリオス	会長
	13	土	東北学校薬剤師会連合会（～14日）	花巻温泉	畑澤（昌）ほか
	17	水	第1回岩手医科大学薬学教育評価委員会	岩手医科大学矢巾キャンパス	熊谷
			いわて災害医療支援ネットワーク構成員連絡先一覧の作成にかかる説明会	（We b）	熊谷、藤原
	20	土	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会	（We b）	
			岩手ビッグブルズ アンチ・ドーピングアウトリーチ（～21日）	タカヤアリーナ	
	21	日	東北地区調整機構総会（第60回会議）	TKPガーデンシティ仙台西口	
	22	月	表彰選考委員会	（We b）	
	24	水	全国薬剤師研修協議会実務担当者会議	（We b）	熊谷、藤村
	25	木	第1回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
第17回岩手県防災拠点病院協議会			（We b）	佐藤（裕）	
5	8	水	第1回地域包括ケア推進委員会	（We b）	
			岩手県教育委員会初任者研修Ⅰ（養護教諭）	総合教育センター	畑澤（昌）
	10	金	岩手医科大学薬学部白衣授与式	岩手医科大学矢巾キャンパス	会長
			第1回医療保険委員会	岩手県薬剤師会館	
	11	土	第1回理事会・第1回地域薬剤師会会長協議会	岩手県薬剤師会館	
	12	日	東北6県薬剤師会会長・日本薬剤師会代議員合同会議	TKPガーデンシティ仙台西口	会長ほか
			くすりの情報センター運営協議会	北ホテル	会長ほか
	15	水	気仙薬剤師会総会	まるしちザ・プレイス	
			ライフプランセミナー	（We b）	
	16	木	花巻市薬剤師会総会	なはんプラザ	
			岩手医科大学薬学部第2学年「早期臨床体験」	岩手医科大学矢巾キャンパス	熊谷
	18	土	地域包括ケア推進に関する地域薬剤師会担当者会議	岩手県薬剤師会館	
	20	月	編集委員会	岩手県薬剤師会館	
第1回非常時・災害対策委員会			（We b）		
23	木	宮古薬剤師会総会	宮古ホテル沢田屋		
		会計監査	岩手県薬剤師会館		
		二戸薬剤師会総会	二戸パークホテル		
24	金	釜石薬剤師会総会	釜石市青葉ビル		
		奥州薬剤師会総会	四季の抄		
25	土	自民党県連政策懇談会	アートホテル	会長ほか	
26	日	認定実務実習指導薬剤師養成・更新講習	岩手県薬剤師会館		
28	火	岩手県食育推進ネットワーク会議総会	岩手県歯科医師会館	会長	
29	水	第1回都道府県会長協議会	日本薬剤師会	会長	
30	木	日薬連第1回全国会長・幹事長拡大会議	AP日本橋	会長、村井	
		本田あきこ中央後援会	AP日本橋	会長、村井	



行事予定



月	日	曜日	行事・用務等	場 所	参加者
6	2	日	自民党県連総務会	ニューウイング	会長
	5	水	久慈薬剤師会総会	久慈グランドホテル	会長
	7	金	本田あきこ岩手県支部訪問（～9日）	県内	
	8	土	小川彰氏大学葬・お別れの会	岩手県民会館ほか	会長
	9	日	第1回保険薬局研修会	マリオス	
	13	木	第2回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
	15	土	非常時・災害対策に関する地域薬剤師会担当者会議	岩手県薬剤師会館	
	16	日	第76期定時総会	岩手県薬剤師会館	
			第2回理事会	岩手県薬剤師会館	
	18	火	北上薬剤師会総会	ホテルシティプラザ北上	会長
	19	水	一関薬剤師会総会	ベリーノホテル一関	会長
	22	土	日病薬東北ブロック学術大会（～23日）	八戸市	
	27	木	第3回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
	29	土	第104回日薬定時総会（～30日）	ホテルイースト21	会長、金澤、熊谷
7	2	火	いわて医療・介護ミライラボ収録	コワーキングスペースOLUCK	
	7	日	健康サポートのための多職種連携研修会【研修会B】	岩手県薬剤師会館	
	14	日	日薬 学校薬剤師東北ブロック連絡会議（～15日）	秋田キャッスルホテル	
	24	水	第2回都道府県会長協議会	日本薬剤師会	会長
	27	土	第3回理事会・第2回地域薬剤師会会長協議会	岩手県薬剤師会館	
8	4	日	健康サポートのための多職種連携研修会【研修会A】	岩手県薬剤師会館	
	15	木	岩手県薬剤師会閉館（～16日）	岩手県薬剤師会館	
	29	木	第4回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
9	8	日	第41回岩手薬学大会	エスポワールいわて	
	21	土	第3回都道府県会長協議会	日本薬剤師会	会長
	22	日	第57回日本薬剤師会学術大会（～23日）	埼玉県	会長
	25	水	日薬連臨時評議員会	AP 日本橋	会長
	28	土	第4回理事会・第3回地域薬剤師会会長協議会	岩手県薬剤師会館	
10	17	木	くすりと健康の週間（～23日）		
	24	木	第5回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
11	9	土	第75回東北薬剤師会連合大会（～10日）	江陽グランドホテル	
	10	日	日本薬剤師会東北ブロック会議	江陽グランドホテル	
	21	木	第6回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
	30	土	第5回理事会・第4回地域薬剤師会会長協議会	岩手県薬剤師会館	
12	8	日	高度管理医療機器等の販売業等に係る継続研修会	アイーナ	
	19	木	第7回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
	29	日	岩手県薬剤師会閉館（～3日）	岩手県薬剤師会館	
1	11	土	岩手県医師会・岩手県歯科医師会新年交賀会	盛岡グランドホテル	会長
	15	水	第4回都道府県会長協議会	日本薬剤師会	会長
	16	木	日薬連第2回全国会長・幹事長拡大会議	AP日本橋	会長、村井
	18	土	第6回理事会・第5回地域薬剤師会会長協議会	ホテルメトロポリタン盛岡	
		岩手県薬学・薬事関係者懇話会新年会	ホテルメトロポリタン盛岡		
2	9	日	第2回東北6県会長・日薬代議員合同会議	ホテルメトロポリタン仙台	会長ほか
3	6	木	第8回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
	9	日	第76期臨時総会	岩手県薬剤師会館	
	15	土	日薬 第105回臨時総会（～10日）	ホテルイースト21	会長、金澤、熊谷
	26	水	日薬連 定時評議員会	日本薬剤師連盟	会長
	29	土	第7回理事会・第6回地域薬剤師会会長協議会	岩手県薬剤師会館	



○令和6年度春の叙勲 旭日双光章

伝達式・令和6年5月7日（岩手県庁）



盛岡薬剤師会
宮手 義和 先生

○令和5年度岩手県学校保健功労者表彰

令和5年12月12日



北上薬剤師会
松川みゆき 先生

○自由民主党岩手県支部連合会優秀党員表彰

表彰式・令和6年3月31日（ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING）



盛岡薬剤師会
佐藤 昌作 先生



理事会報告



第1回常務理事会 令和6年4月25日(19:00~20:30) 岩手県薬剤師会館	
報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 会務報告と今後の予定について 2 令和6年度岩手県社会保険医療担当者(薬局)指導関係打合せ会について 3 東北学校薬剤師会連合会連絡協議会について 4 薬局ビジョン推進委員会から 5 実務実習受入対策委員会から 6 令和6年度行事予定について 7 その他
協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 会費未納者の対応について 2 第56回岩手県薬剤師会表彰について 3 岩手県薬剤師会 監事選挙告示等について 4 第76期定時総会について 5 日本薬剤師会第104回定時総会ブロック代表質問について 6 研修会開催支援業務について 7 地域における夜間・休日の医薬品提供体制リストにおける非会員への対応について 8 認定実務実習指導薬剤師の認定不可にかかる対応について 9 その他

第1回理事会・第1回地域薬剤師会会長協議会 令和6年5月11日(14:30~16:15) 岩手県薬剤師会館	
報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 会務報告と今後の予定について 2 日本薬剤師会第104回定時総会ブロック代表質問について 3 令和6年度岩手県社会保険医療担当者(薬局)指導関係打合せ会について 4 東北学校薬剤師会連合会連絡協議会について 5 薬局ビジョン推進委員会から 6 実務実習受入対策委員会から 7 地域包括ケア推進委員会から 8 令和6年度行事予定について 9 ライフプランセミナーについて 10 その他
協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 第56回岩手県薬剤師会表彰について 2 岩手県薬剤師会 監事選挙告示等について 3 第76期定時総会について 4 地域における夜間・休日の医薬品提供体制リストにおける非会員への対応について 5 その他
地域薬剤師会 会長協議会	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度の県薬事業について <ul style="list-style-type: none"> ・「県民健康講座みんなの薬の学校について」 ・自殺対策事業について 2 意見・情報交換 3 その他



委員会の動き



倫理委員会から

～臨床研究のススメと倫理審査～

委員長 工藤 賢三

今回の診療報酬改定では、少子高齢及び人口減少社会に伴う医療構造の変化に対応していく改定のイメージを抱いたのは私ばかりではなかったと思います。また、薬剤師の偏在・確保の観点でも配慮がされた改定と認識しております。診療報酬改定のセミナーに参加した際、厚労省の薬剤管理官は、業務（活動）に対して新たに診療報酬で評価していくためには、医療者側の評価と全国での実績（実施率）が大切であること、特に、医療者や患者に対して医療の質の向上に貢献していることのエビデンスが重要であることを強調されておりました。

現在、薬剤師には物中心から人中心に業務をシフトさせ、どのように医療ニーズに貢献していくのか真価が問われています。同時に、薬剤師の活動が医療の質の向上にどのように貢献しているのかエビデンスの創出が求められています。これらのエビデンスが診療報酬改定議論の背景や根拠となることから、日本薬剤師会も薬局薬剤師による臨床研究を強く推進している所となります。

このようなエビデンスを創出する際、「生活者や患者さん」が研究の対象となることが往々にあります。このような人を対象とした研究を臨床研究といいます。臨床研究の実施にあたっては、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って進めることが必要となります。臨床研究では、他の研究と異なり、研究全体を通して倫理的配慮が強く求められ、臨床研究を行う場合には、研究を開始する前に、研究計画において倫理的配慮や個人情報への配慮、科学的合理性があるかなどの倫理審査を受け、承認を受けてから研究を進めなければなりません。

既にご報告しているように、当会のホームページに臨床研究倫理審査の申請ページを開設してお

ります。臨床研究を実施しようと考えている先生はもちろんのこと、臨床研究を考えていない先生も是非一度訪ねてください。必要な臨床研究の倫理審査の概略がご理解頂けるものと思います。

倫理委員会では、臨床研究を適正に実施できるよう研究計画の支援や研究倫理審査の体制を構築しております。臨床研究はハードルが高いもののように感じられますが、まずは「はじめてみる」ことが最も大事なことだと思っております。そしてこの積み重ねが新しい活動の評価、新規の業務展開に繋がるものと確認しております。

これからも当委員会の活動へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

薬局ビジョン推進委員会から

委員長 村井 利昭

(株)日本医事保険教育協会

保健師 菱田 理恵

「高齢者のポリファーマシー対策

～多職種との協働のススメ～」

岩手医科大学薬学部臨床薬学講座

地域医療薬学分野教授 高橋 寛

令和5年度の当委員会の活動内容について報告いたします。

1. 患者のための薬局ビジョン推進に向けた取組み

(1) 健康サポートのための薬剤師の対応研修会【研修会B】の開催

令和5年6月11日(日) 12時～17時

(会場：岩手県薬剤師会館)

受講者：12名

(2) 健康サポートのための多職種連携研修会【研修会A】の開催

令和5年7月9日(日) 12時～17時

(会場：岩手県薬剤師会館)

受講者：18名

2. 薬局における薬機法等法への対応

「医薬品・医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」について、日薬や県からの情報を県薬HPに随時掲載しており、特に重要と考えられる情報については、イーハトープに掲載し、周知を図った。

[イーハトープに掲載した情報]

・「薬局におけるサイバーセキュリティの確保」について

3. 医薬品等の適正使用の推進及びポリファーマシー対策の推進

(1) 重複・多剤投薬者訪問指導等業務（岩手県後期高齢者医療広域連合事業）

<事業概要>

岩手県後期高齢者医療被保険者のうち、レセプト情報により選定した重複・多剤投薬者等に対して、薬剤師が訪問もしくは薬局窓口において服薬等に関する助言を行うことにより、被保険者の適正な服薬を促し、医療費の適正化を図る。

<事業スケジュール>

1/31 広域連合及び(株)JDCから、勧奨対象者(1,965名)及び県内医療機関・薬局に案内を送付。

各薬局は必要に応じて、窓口等で対応し、対応結果について、県薬事務局にFAXもしくはWEBで報告(報告数322件)。

2/8 令和5年度 薬局ビジョン推進セミナー(オンライン)の開催

(参加者304名)

「高齢者のポリファーマシー対策
～薬剤師との同行訪問を踏まえて～」

4. 一般用医薬品販売への対応

(1) 医薬品販売制度対応に関する自己点検の実施

令和4年度医薬品販売制度実態把握調査

(調査期間：令和4年11月～令和5年2月)

の結果が公表され、第1類医薬品販売に際して情報提供された内容を理解したかどうかの確認について「確認があった」は全体で57.7%(薬局で56.4%)であったほか、濫用等のおそれのある医薬品を複数購入したときの対応が「適切であった」割合は全体で76.5%(薬局で47.1%)と遵守状況が大きく悪化しており、また、今回は、一般用新型コロナウイルス抗原定性検査キット販売に係る調査も実施されたが、使用者が検査後に適切な行動をするための情報提供がほとんどなされていなかったという調査結果となったことから、会員薬局に対して、医薬品販売制度対応に関する自己点検を依頼し、点検結果を回答いただき、取りまとめた内容を日本薬剤師会に報告した。

【実施時期】 令和5年9月25日

から10月13日

【実施方法】 会員薬局に自己点検表をメール送信し、点検結果についてFAXまたはメール添付で回答いただいた。

また、イーハトープ誌上で、関連法令等の理解と、これらを遵守した職務遂行を訴求した。

5. その他

(1) 日本薬剤師会等主催会議への派遣・医療DX・薬局機能向上・地域医薬品提供体制に係る全国担当者会議

日時：令和5年11月7日(火)

出席者：村井 利昭

(2) 県薬・病薬合同地域連携ワーキンググループ会議への派遣

第1回：令和5年10月17日(火)

第2回：令和6年2月21日(水)

出席者：村井 利昭、金野 良則、野館 敬直

『イーハトーブ』2007年5月の創刊から17年目に突入しました。

会務事業報告・学術情報・会員コミュニケーションを3本柱としてより多くの会員に読まれるよう内容の充実を図る、をコンセプトに始まりましたが、長い間続けてこられたことに感謝いたします。

3本柱に「会員コミュニケーション」を掲げている『イーハトーブ』は会員相互の情報交換の場でもあります。

会員の方で寄稿に投稿したい、若しくは講演を聴講して良かったので寄稿にしてもらいたい、「みんなの広場」で取り上げてほしいテーマ等ありましたら編集委員へご相談ください。

また、表紙の写真は随時募集しています！「岩手らしいもの」で出来れば発行時期に合わせた季節のものを送っていただけると幸いです。

写真自慢の方は是非よろしくお願ひ致します。

『イーハトーブ』創刊の経緯、これまでの歴史など、詳しくは会長の畑澤博己先生が100号の寄稿に執筆していますので、新会員の方はバックナンバーをご覧になってください。

RMP 実態調査報告

委員 高野 浩史

2/1～2/29に実施した薬局薬剤師を対象としたRMP実態調査の結果についてご報告いたします。

191件の回答がありました。ご参加いただいた先生方、ご協力ありがとうございました。

結果と考察（設問順に）

設問1：RMP（医薬品リスク計画）を

- ・内容をよく理解している・・・4.7%
- ・内容をある程度理解している・・・21.4%
- ・内容を見たことがある・・・35.4%
- ・聞いたことがある・・・25.5%
- ・知らない（聞いたことがない）・・・13%

内容をよく理解している～ある程度理解している割合が3割程度。PMDAで実施した調査とほぼ同様の結果になりました。

設問2：薬局においてRMP（医薬品リスク計画）を

- ・活用している・・・33.7%
- ・活用していない・・・65.7%
- ・薬局業務を整理してから考える予定・0.6%

活用していないと答えた割合が60%を超えています。背景には活用の仕方がわからないなどの原因が挙げられます。

設問3：RMPをどこから入手していますか？

- ・PMDAのHP・・・64%
- ・製薬企業のHP・・・12.9%
- ・製薬企業のMR・・・14.4%
- ・その他多数回答

6割の方が「PMDAのホームページ」と回答しています。

設問4：どのような形でRMPを使用していますか？

- ・副作用モニタリング・・・26.7%
- ・患者さんへのフォローアップ・・・8.4%

- ・服薬指導・・・55%
- ・その他多数回答

RMPの活用方法としては、「服薬指導」が一番多く、ついで「副作用モニタリング」が多い傾向です。

設問5：RMPを活用しにくい場面はどのような場面かお聞かせください

- ・RMPをよく分かっていなかったので、使えていなかった。説明動画を見たので、これからは活用していきたいと思う。
- ・RMPを理解していないので不明
- ・さしあたって患者がそこまで必要とはしていない
- ・時間がないと目を通すことができない
- ・服薬指導で実際に活用するにはある程度品目や項目を絞って準備しておく必要があり、活用が難しく感じる

などの意見が上がりました。

設問6：その他自由意見として

- ・RMPを意識してメーカー資材など活用していきたいと思います。
- ・もっとよく知り活用できるようにしたい。
- ・患者のニーズが早くもらって帰ることのほうが優先になっていることが多い。患者側から気になった時にアクセスできる流れを整備し周知するのが現実的なように思います。
- ・今回のアンケート調査で改めてPMDAで調べて初めて活用方法が分かったので、そもそもRMPの存在自体をPMDAがもっと周知に力を入れるべきだと思います。

当委員会では、今年度もRMPの周知や活用についての情報提供をしていきたいと考えております。医療安全の推進のために、ご協力をお願いいたします。



地域薬剤師会の動き



花巻市薬剤師会

会長 坂本 秀樹

令和5年度の花巻市薬剤師会の総会は新型コロナウイルス感染症が5月8日より第5類に移行したため、なはんプラザの会場にてリアル開催で行いました。久々に会員の皆さんにお会いでき、嬉しく思います。

その後の懇親会には40数名の参加があり、コロナ禍で規制されていたストレスを発散するかのよう大いに盛り上がりました。



[薬と健康の週間事業について]

令和5年10月22日、イトーヨーカドー花巻店にて健康まつりを開催しました。今回は花巻市・中部保健所・栄養士会も加わり、内容も充実でした。

【内容】子ども調剤体験・血管年齢チェック・体組成計による肥満度チェック・野菜摂取度チェック・塩分チェック・食事相談等

薬剤師 22名参加

来場者 143名



[花巻医療薬学大会]

令和5年度に開催予定でしたが、ハイブリッドで行うためインターネット回線の安定している有線の会場が確保できず、令和6年4月に開催予定です。

[花巻市防災訓練]

令和5年7月16日、花巻市生涯学園都市会館で花巻市・医師会・歯科医師会・薬剤師会の合同で行いました。河川が氾濫し、医療救護所を立ち上げ住民のトリアージにより三師会でどのように対応するかの確認・訓練を行いました。

令和6年には、岩手県の防災訓練が、「遠野・花巻」で行われますので、会員一同、更に協力し訓練を重ねていきたいと考えております。

東日本大震災から13年が経過しました。2024年元旦には能登半島地震が発生し、多くの方が被災しました。当地区でも13年前のフラッシュバックに悩まされる方々が多くいらっしゃいました。ハード面での復興は進みますが、地域住民のこころの復興には時間がかかると感じられます。震災を経験した地域薬剤師会として、現地の住民のことも考えながら、当地区の住民に対する活動を継続しなければならぬと感じました。

昨年は新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類移行となったことから、様々な面で人の交流が活発になってきました。そんな中で、地域薬剤師会の活動もコロナ前に戻すべく、委員会活動を中心に活動を行いました。

医薬品の流通は相変わらず悪い中、保険薬局部会では役員会を定期的に開催し、薬局間の情報共有を図りながら、地域医師会や基幹病院と連携をして、地域住民に対する医薬品供給が滞らないように努めました。薬と健康の週間に地域新聞に掲載した「役に立つくすり講座（こどもの薬編）」の内容を、冊子として作成しました。今後は関係機関への配布や講話での使用を行っていく予定です。



長年活動を継続している調剤過誤対策委員会では、事例の収集とフィードバックを毎月行っており、6割強の薬局から報告をいただいています。事例を分析していく中で「お薬手帳を医療機関に

見せていないために、重複処方がされている」ことが散見されたため、お薬手帳を有効活用するために、医療機関への提出を訴えかけるポスターを作成し、地域の医療機関に配布しました。電子化が進む中ではありますが、まだまだ紙媒体のお薬手帳を有効に活用することで、安心して薬を使用していただけよう努めていきたいと思っています。



高齢者福祉委員会では「在宅（施設）で療養する方への薬剤師の関わりに関するアンケート調査」を実施しました。管内の介護事業所全てに配布し、そこに勤務する多くの方々から300件以上の回答を得ました。訪問薬剤管理指導の実施だけでなく、薬局店頭で薬を渡している場合でも、それぞれの家や施設において薬の管理や与薬に問題を抱えていることが明らかになりました。年度末には薬剤師会主催で地域の多職種との研修会を開催（薬剤師17名多職種15名）し、それぞれの立場を共有しました。

非常時災害対策委員会では、非常時連絡網訓練を毎年2回実施していますが、今後は災害時の医薬品供給における訓練も計画しています。

新型コロナウイルス感染症は今なお毎日のように感染する方がいます。今後も感染症対策を十分に行いながら、新たな日常の中で、病院薬剤師、薬局薬剤師が連携しながら、地域の中で薬剤師の顔が見えるような活動を行っていきたく考えます。



薬連だより

本田あきこオレンジ日記



参議院議員・薬剤師 本田 顕子

薬学の「ちから」 ～ 多様な人材を求める社会に応える ～

令和6年2月に行われました薬剤師国家試験（第109回）の結果が3月19日に公表され、新たに9,296名の薬剤師が誕生しました。受験者数は13,585名。20歳代の年齢別人口が減少傾向にある中、相対的に薬剤師を目指す割合が大きくなっています。

薬剤師の従事先人数は薬局が最も多く、全ての従事先に占める割合（構成割合）は30年前の平成6年から増加が続き、直近の令和4年は約6割となっているのに対して、病院・診療所に従事する薬剤師については、人数は近年微増しているものの構成割合は減少傾向にあります。薬剤師の不足・偏在の解消に関しては、第8次医療計画に基づいて各自治体の薬務主管課・医務主管課と連携のうえ、地域医療介護総合確保基金の活用および出向・出張等による地域内調整を進めることに加え、引き続き処遇改善に向けた取組が必要と考えています。

薬剤師の従事先により顕著な減少傾向が見られるのは医薬品製造販売業・製造業です。平成24年以降、人数の減少が続き、割合も当時の11.2%から8.0%に低下し、薬学を学んだ卒業生（4年制を含む約1.1万人）の製薬系企業への就職者数も近年減少傾向にあります。

薬学から得る資質は多岐にわたります。

製薬産業への薬剤師の数や割合の減少が直接的に現下の医薬品供給不足と結びついているとは言いませんが、供給不足の発端となりました製造・品質に係る薬機法違反を生じさせない社内管理体制を整備するうえで、薬学系人材が貢献できると考えています。

経済安全保障の観点から生産拠点の国内回帰の必要性が指摘される中、国内生産力を高め、かつ品質が保証された医薬品の安定的な供給に持続性をもたせるため、多様な人材を輩出する薬学の「ちから」で生産現場の製造管理・品質管理の体制強化を図っていきたいと思います。

今年度も「骨太の方針」を策定する時期が近づいてまいりました。

人口減少が続く中、限られたリソースを適正に分配する観点に立って、社会が求める様々な分野に恒常的に薬学系人材を供給できるシステムの構築について、薬剤師および薬学関係者との議論を重ねてまいります。



まさゆき
政幸だより



参議院議員・薬剤師 神谷 政幸

予算委員会で質問に立ちました

令和6年3月28日の参議院予算委員会で質問に立ちました。武見厚生労働大臣に対し、能登半島地震における薬剤師の支援活動と医薬品卸に対する評価について質したところ、被災地では発災直後から自ら被災しながらも活動を行った薬剤師や、モバイルファーマシーを含め全国から支援に駆け付けた日本薬剤師会、日本病院薬剤師会の会員に対し感謝の言葉がありました。医薬品卸においても倉庫や営業所における荷崩れの被害が生じ、発災直後より道路の状況や悪天候などがあったものの、基本的には翌日に現地に届ける体制が整備されたことなどに対して感謝の言葉がありました。

また岸田総理に対し、薬価基準の頻回な改定が製薬業界の利益を圧迫し、医薬品供給問題にも影響を与えている現状や、薬価改定の資産減の影響を吸収しきれず経営が苦しい薬局の現状を訴え、令和7年度中間年改定は中止にするか、本来の主旨である乖離幅が大きい品目の範囲で行うべきと主張し総理の考えを質しました。総理からは「薬価の毎年改定は、市場実勢価格を適時に反映し、国民の負担を抑制する観点から実施しているものであるが、これまでの薬価改定においては、不採算医薬品の薬価を引き上げるなど、医薬品の安定供給問題にも適切に対応してきた。診療報酬改定のない令和7年度の中間年改定の在り方については、昨年末、厚生労働省の中医協で了承された令和6年度薬価制度改革の骨子において、引き続き検討するとされており、令和6年度速やかに議論を開始し検討を進めていく」との回答がありました。総理の答弁に対し、平均乖離率は令和5年度調査で6%と過去30年で最も小さくなっており、次の中間年改定をこれまでのように0.625倍の範囲で行うことは現実的ではない。賃上げを実施しつつ、医薬品流通体制と地域の医薬品提供体制を守るために、是非前向きな検討が行われるよう要望しました。

YouTube

令和6年3月28日

参議院予算委員会での質問





最近の話題



令和6年能登半島地震災害への岩手県薬剤師会の対応について

専務理事 熊谷 明知

本年1月1日の夕刻に発生した、能登半島地震でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、今なお、不自由な生活を続けておられる皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日も早く平常な生活を取り戻されますようお願いしております。

岩手県薬剤師会では、発災直後から、日本薬剤師会及び東北ブロックの薬剤師会との連携のもと対応してまいりました。会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

1. 令和6年能登半島地震にかかる災害義援金等について

(1) 被災された方々への募金活動

1/4に会員に呼びかけ、薬局の店頭等で募金活動を行い、2/29までに、242の施設及び個人から、5,243,957円が寄せられました。

全額を、日本赤十字社に送金し、被災県に設置された義援金配分委員会を通じて、被災された方々に届けていただきます。

(2) 日本薬剤師会 令和6年能登半島地震義援金

被災された都道府県薬剤師会を通じ被災会員に贈呈するため、日本薬剤師会が募集・取りまとめするもので、岩手県薬剤師会として、20万円を送金しました。

(3) 石川県薬剤師会への災害支援金

被災地域の中でも被害が甚大な石川県における災害支援活動にかかる支援金として、石川県薬剤師会に10万円を贈りました。

2. 災害派遣薬剤師の募集及び派遣

(1) 災害派遣薬剤師の事前募集及び派遣

被災県及び日本薬剤師会からの薬剤師派遣の要請があった場合に、迅速に対応するため、1/9に事前募集を開始したところ、8名の会員に応募いただきました。

日薬災害対策委員会委員として現地入りしていた中田義仁常務と協議し、2/7から2班を編成することとし、応募者に出動を打診した結果、下記のメンバーを派遣することを決定しま

した(日薬に申込書を提出。2/2に派遣が決定)。

2/7(水)～11(日)

小林 沙紀(花巻市・たかき薬局)

柳原 麻美(花巻市・二十六薬局)

高橋 涼太(北上市・ファースト調剤薬局北上済生会病院前店)

2/11(日)～15(木)

馬場 亮輔(花巻市・たんぼ薬局)

石川 準二(釜石市・バルム薬局)

加藤 昭一(宮古市・三陸病院)

※ 小林・柳原・高橋3名は、能登町で活動し、11日に無事帰県(活動内容については、イーハトーブ第102号をご覧ください)。

※ 2/8に、日薬事務局から、「日薬スキームによる薬剤師派遣を縮小することとなり、2/11からの岩手県の派遣について中止をお願いしたい」との連絡があり、止むを得ず、2/11からの派遣中止を決定。

(2) 災害派遣薬剤師の募集及び派遣

2/15に、日薬から、「派遣規模は縮小するものの、継続的な支援活動が必要な地域がある」ということで、改めて、都道府県薬宛に「薬剤師派遣の継続等」について協力依頼文書が届くとともに、東北6県薬には別途、「薬剤師派遣」について協力依頼文書が届きました。さらに、2/20に、日薬役員から、「3/4～8に岩手から1チーム出動できないか？」との連絡があったことから、当該期間の「災害派遣薬剤師の募集」をしたところ、2名に応募いただきました(日薬に1チーム2名で構わないことを確認したうえで申込書を提出。2/27に派遣が決定)。

3/4(月)～8(金)

斉藤 学(一関市・青葉の杜薬局一関店)

金野 晃大(盛岡市・みつばち薬局)

※ 斉藤・金野両名は、出発当日(3/4)から8日まで「いしかわ総合スポーツセンター」で活動し、8日に無事帰県(活動内容については、次ページ以降に掲載しましたので、併せてご覧ください)。

以上

能登半島地震災害における支援薬剤師の活動について 1

青葉の杜薬局一関店 齊藤 学

「要介護者の1.5次避難長期化」、今回の能登半島地震で被災地域が抱えた問題のひとつであり、今後の災害時避難所運営対策に大きくかかわってくる課題ではないだろうか。私が支援薬剤師として従事させていただいた避難所はまさにこの渦中でした。

2024年1月1日16時10分、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測。震源は石川県能登地方でマグニチュードは7.6。建物の倒壊や津波被害、地盤の隆起も確認された。

今回の地震では建物の倒壊による被害が多く、2月時点で4万9千棟を超え、県が氏名を公表した死者のうち86%の死因が家屋倒壊だったことが判明している。家屋の倒壊以外にも断水などの影響で発災から2か月経った3月現在も1万人を超える人たちが避難所生活を送っており、その中でも高齢者や介護が必要な方の2次避難先である福祉施設への入所が進まず、本来2次へのつなぎとして設けられた「1.5次避難所」である大型体育館などに長期滞在する事例が問題となっていた。

石川県で最初の「1.5次避難所」として開設されたのが金沢市にある「いしかわ総合スポーツセンター」(1/8開設)であり、その後同市「産業展示館2号館」(1/13開設)、小松市の「小松総合体育館」(1/18開設)と続いている。そして3月現在、最後の「1.5次避難所」となっているのも「いしかわ総合スポーツセンター」であり、今回私が岩手県薬剤師会の災害派遣薬剤師として3/4～3/8の間従事した避難所でもある。

「いしかわ総合スポーツセンター」ではメインフロアに健常者、サブフロアに要介護者が避難しており各100人程度受け入れることができる。メインフロア内では居住スペースとしてテントが用意され、サブフロア内ではパーティションで2名一室となるように区切られており、それぞれにベッドが配置されていた。

私が担当したのはサブフロアで、介護が必要な方が対象となっているため、寝たきりの方や嚥下が困難な方、認知機能低下による徘徊、服薬忘れ、

誤薬などの危険性がある方などの支援を行っていた。そのため、他の避難所に比べ医療や介護福祉の専門チームが常時派遣されており、バイタルの記録や食事内容の検討、感染症や褥瘡の発生予防、服薬管理なども個別の状況に合わせた対応が求められていた。実際に現場では、一つの課題に対し医師、看護師、保健師、薬剤師、MSW、リハ、栄養士などが連携し情報共有しながら個々の専門性を活かし様々な条件下で柔軟に対応していた。

サブフロアでの薬剤師の主な業務は、①石川県立中央病院のサテライトとして設けられたフロア内診療所で従事する医師への処方依頼、②避難者の残薬管理、③1週間毎の配薬準備など服薬支援(薬剤師が準備した薬をさらに看護師が避難者ごとに配布しやすいよう当日分、翌日分に分ける)、④調剤依頼した近隣保険薬局が配達してくれた薬をサブフロア薬剤師が受け取り、監査後避難者毎に保管、⑤退所時の残薬整理と引き渡し、⑥他職種への服薬情報提供、⑦OTCの在庫管理(服用可否は医師または看護師の判断)などであった。

そのほかにも随時近隣薬局と連絡を取り合い、避難者の保険番号の確認(オンライン資格確認を代行してもらう)や一包化調剤の細かな指示(別包指示や印字様式の指定)、先発希望だが備蓄的に調剤可能か、保険調剤を依頼する上で薬局からの疑義問い合わせが予想される内容を予め薬局側へ伝え、避難所ならではの処方意図を理解してもらうなど、サテライト診療所-保険調剤薬局間での薬薬連携の中心を担っていた。



パーティションで2人1部屋の居住スペースを区画



ビニルパックを利用し1週間分ずつ各避難者の薬を準備

能登半島地震災害における支援薬剤師の活動について 2

みつばち薬局 金野 晃大

盛岡薬剤師会、みつばち薬局の金野晃大です。本日は2024年1月1日に発生した能登半島地震に伴う、能登半島災害派遣支援活動について報告させていただきます。今回、岩手県薬剤師会として3月4日（月曜日）から3月8日（金曜日）の5日間、私と一関薬剤師会の齊藤学先生と支援活動をさせていただきました。

活動場所は金沢市内に位置する、いしかわ総合スポーツセンターで、地元の方々の間では「スポセン」の愛称があります。今回の地震発生に伴い1月8日から開設され、避難所としては「1.5次避難所」に位置付けられておりました。1.5次避難所とは1次避難所（被災地の体育館等）から2次避難所（福祉施設等）や仮設住宅等へ掛け渡しの機能とされており、しかし、福祉施設が満員で確保できないことから、開設当初の想定より高齢者の滞在期間の長期化が進んでいる状況でした。

薬剤師活動としては医師、保健師、看護師からの相談、スポセン内に設置された仮診療所で発行する処方箋監査、近隣薬局への処方薬手配の調整、避難者の健康相談、OTCの適正使用説明をさせていただきました。

医師からの相談ではイレギュラーな環境のため処方箋作成が手書きや手入力であることから、記載事項の抜け、疑義点があり医師の処方箋作成の

多くの時間、隣でサポートさせていただきました。処方箋監査では仮診療所における処方箋発行は処方方の根拠となる検査が実施できないことから、原則Do処方のため避難者のお薬手帳や持参薬鑑別の情報を確認し、定期服用薬が処方されているかどうか監査をし、医師に繋げました。

保健師、看護師からの相談では薬剤の注意点、副作用情報の説明、服用方法、タイミングのアドバイス（酸化マグネシウムとの相互作用のある薬剤やレバグリニド、ミチグリニド等）をしました。



避難所内の様子



活動の様子

避難者への健康相談、OTC 対応では定期処方以外での身体の不調に対応するため、薬剤師相談ブースの活動をしました。相談内容として避難所生活において乾燥に悩む方やテント生活で腰痛やむくみが発現する方、今後の生活を不安に思う方も多く、ブースにおいて必要に応じて供給されている OTC の中から保湿剤や湿布の使用方法説明、避難所のできる生活習慣のアドバイス、相談内容によっては各専門職への橋渡し役を担いました。



健康相談の様子

活動を通して私自身感じたことについてお話しします。今回の支援活動について実感したのは、日々変わっていく状況に対して臨機応変に対応することの重要性です。支援活動において薬剤師活動のマニュアルはあったものの、状況の変化に伴い、思いがけない事態が発生することもありました(処方箋の保管方法や OTC の配布基準等)。平時の準備、備えが基本となりますが、その上で状況に合わせて被災された方、それぞれの支援者との

意思疎通、意見交換をとり迅速に対応することが大切であることを感じました。また、私自身参加させていただいた、岩手県防災訓練の経験が今回の災害派遣支援活動において活かされました。防災訓練では医薬品整理、災害処方箋対応、環境検査等訓練し実際の現場でも訓練時の目的到達に向けた参加者同士での協力方法、意思疎通、コミュニケーション等から応用し今回の災害支援において対応することが必要でした。

最後に被災された方の精神的ケアが改めて重要であることを感じました。避難されている方と実際にお話をさせていただき、家族がいない方や孤独な状況に置かれた方、自宅が倒壊された方など、精神的苦痛から体調の不調を訴える方が多くいらっしゃいました。避難生活をされている方のお話を伺う、傾聴する、各専門職と連携をとり橋渡しの存在になることが支援する上で基本になると感じました。コミュニケーションを通して避難者の方々と顔の見える関係が精神的ケアに繋がることも実感しました。

今回、災害支援を実施させていただくために、私自身の日常業務を他スタッフの方々にカバーに入ってもらい、協力していただいたことから活動が成立したと思います。サポートしていただいた薬剤師会の先生方、スタッフの方々には感謝申し上げます。今後の能登半島災害の復興への切なる願いと、支援に携わっていただければと思います。



災害派遣支援薬剤師

質問に答えて

Q. 腎機能低下時に注意が必要な経口薬について

○腎臓の機能と障害

腎臓は、尿を作ることで老廃物を排泄する、水分や電解質のバランスを調整する、さらにはホルモンを産生することで、血圧を調節する、赤血球を産生するなど、生体恒常性の維持に重要な役割を担っています¹⁾。このため、腎臓が障害されると、薬物の排泄能低下のみならず、各種代謝産物の体内蓄積、アシドーシス、貧血、腎性異常栄養症など、様々な症状をきたします。本稿では、腎機能低下時に注意が必要な薬剤のうち、特に経口薬について、具体的な減量基準や減量方法についてまとめました(表1)。

○腎機能の評価方法

腎機能評価には様々な指標がありますが、薬物の投与量設計では、主に血清クレアチニン値から算出する推算クレアチニンクリアランス(CCr)や推算糸球体濾過量(eGFR)が用いられます(図1)。各指標の特徴や違いは、成書やガイドラインなどで学ぶことができます^{2,4)}。

どの指標を用いるかは、添付文書などに記載されている腎機能評価法(治験時の評価法)が原則となります⁴⁾。しかし、投与量設定はあくまで目安であり、過量・過少投与とならないよう、患者状態を加味した投与量の設定が重要です。

推算クレアチニンクリアランス : Cockcroft & Gault(CG)式

$$\text{CCr}(\text{mL}/\text{min}) = \frac{(140 - \text{年齢}) \times \text{体重}}{72 \times \text{血清クレアチニン値}}$$

(女性は×0.85)

推算糸球体濾過量 : 日本人向けGFR推算式

$$\text{eGFR}(\text{mL}/\text{min}/1.73\text{m}^2) = 194 \times (\text{血清クレアチニン値})^{-1.094} \times (\text{年齢})^{-0.287}$$

(女性は×0.739)

図1 主な腎機能評価方法

○注意が必要な抗がん剤

フッ化ピリミジン系代謝拮抗薬であるテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム(TS-1/S-1)は、5-FUの分解酵素阻害剤であるギメラシルが腎排泄型であり、腎機能障害患者では5-FUの血中濃度が上昇するため、副作用が強くあらわれるおそれがあります。また、本剤は「重篤な腎障害のある患者」へ禁忌であり、CCrで30mL/min未満の患者には推奨されません⁵⁾。

岩手医科大学附属病院 於本 崇志、朝賀 純一

○注意が必要な抗凝固薬

直接作用型経口抗凝固薬(DOAC)は、いずれも腎排泄型の薬剤であり、高度の腎障害・腎不全患者へ禁忌となっています。さらに、DOACは、腎機能のみならず、適応や体重、年齢、併用薬などによって投与量を調節する必要があり、処方・調剤時には確認事項が多い薬剤の一つです。

○注意が必要な抗ウイルス薬

アシクロビル・バラシクロビルは、腎障害患者で半減期の延長および全身クリアランスの低下が認められています。過量投与では、精神症状や意識障害などが報告されており、腎機能に応じた減量が必要です。

○注意が必要なその他の薬剤

疼痛治療剤であるプレガバリンやミロガバリンは、未変化体が尿中に排泄されるため、腎機能低下時には血中濃度が高くなり、めまいや眠気、意識障害などの副作用が発現しやすくなるおそれがあります。そのため、添付文書には、CCrを基準とした減量方法が記載されています。

糖尿病治療薬であるメトホルミンは、腎機能障害患者において乳酸アシドーシスの発現リスクが高くなる可能性があり、重度の腎機能障害(eGFR 30mL/min/1.73m²未満)のある患者へ禁忌となっています。また、中等度の腎機能障害患者では、少量から開始するなど、慎重に投与する必要があります。糖尿病性腎症を合併する患者では、徐々にeGFRが低下していくおそれがあるため、腎機能のモニタリングや各薬剤の投与量調節が重要です。

抗不整脈薬であるシベンゾリンは、腎機能障害患者において本剤の血中濃度上昇を伴う心停止や低血糖が発現した症例が報告されており、腎機能に応じた投与量調節が必要です。

本稿では、腎機能低下時に注意が必要な経口薬について紹介しました。ここに記載が無い薬剤でも、減量や投与を避けるべき薬剤がありますので、添付文書や書籍などを確認しましょう。

参考文献

- 1) 公益財団法人 日本腎臓財団ホームページ
- 2) 透析患者への投薬ガイドブック 改訂3版
- 3) 腎臓病薬物療法トレーニングブック 第2版
- 4) エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023
- 5) テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム 適正使用のお願い
- 6) 各薬剤の添付文書・IF

表1 腎機能低下時に注意が必要な経口薬

薬剤 (適応によって減量基準が異なることがあります)	CCr (mL/min)	投与方法	参考情報
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム (単独投与) ※「ホルモン受容体陽性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法」での投与は添付文書を参照	80～60	初回基準量 (必要に応じて1段階減量)	適正使用ガイド
	60～30	原則として1段階以上の減量 (30～40未満は2段階減量が望ましい)	
	30未満	禁忌	
タビガトラン	50～30	本剤1回110mg1日2回投与を考慮すること	添付文書
	30未満	禁忌	
アピキサバン (心房細動の場合)	血清クレアチニン 1.5mg/dL以上	左記に加えて、80歳以上もしくは体重60kg以下で、1回2.5mgを1日2回	添付文書
	15未満	禁忌 ※静脈血栓塞栓症は30mL/min未満で禁忌	
エドキサバン (心房細動の場合)	50～30	30mgを1日1回	添付文書
	30～15	有効性及び安全性は確立していないので、本剤投与の適否を慎重に判断すること。投与する場合は30mgを1日1回(80歳以上の高齢者では、添付文書7.3も参照)	
	15未満	禁忌 ※静脈血栓塞栓症も同様。下肢整形外科手術の適応では30mL/min未満で禁忌	
リバーロキサバン (心房細動の場合)	50～30	10mgを1日1回へ減量	添付文書
	30～15	本剤投与の適否を慎重に検討した上で、投与する場合は、10mgを1日1回投与	
	15未満	禁忌 ※静脈血栓塞栓症は30mL/minで禁忌	
バラシクロビル	50～30	単純疱疹：500mgを12時間毎 帯状疱疹：1000mgを12時間毎	添付文書
	30～10	単純疱疹：500mgを24時間毎 帯状疱疹：1000mgを24時間毎	
	10未満	単純疱疹・帯状疱疹：500mgを24時間毎	

表1 腎機能低下時に注意が必要な経口薬 (つづき)

薬剤 (適応によって減量基準が 異なることがあります)	CCr (mL/min)	投与方法	参考情報
プレガバリン (神経障害性疼痛の場合)	60 ~ 30	1日投与量として 75 ~ 300mg 初期用量：1回 25mg を1日 3回または 1回 75mg を1日 1回 維持量：1回 50mg を1日 3回または 1回 75mg を1日 2回 最高投与量：1回 100mg を1日 3回または 1回 150mg を1日 2回	添付文書
	30 ~ 15	1日投与量として 25 ~ 150mg 初期用量：1回 25mg を1日 1 ~ 2回または 1回 50mg 1日 1回 維持量：1回 75mg を1日 1回 最高投与量：1回 75mg を1日 2回または 1回 150mg を1日 1回	
	15 未満	1日投与量として 25 ~ 75mg 初期用量：1回 25mg を1日 1回 維持量：1回 25 ~ 50mg を1日 1回 最高投与量：1回 75mg を1日 1回 ※血液透析後の補充用量も設定されている	
ミロガバリン	90 ~ 60	1日投与量として 10 ~ 30mg 初期用量：1回 5mg を1日 2回 有効用量：(最低) 1回 10mg を1日 2回 (推奨) 1回 15mg を1日 2回	添付文書
	60 ~ 30	1日投与量として 5 ~ 15mg 初期用量：1回 2.5mg を1日 2回 有効用量：(最低) 1回 5mg を1日 2回 (推奨) 1回 7.5mg を1日 2回	
	30 未満	1日投与量として 2.5 ~ 7.5mg 初期用量：1回 2.5mg を1日 1回 有効用量：(最低) 1回 5mg を1日 1回 (推奨) 1回 7.5mg を1日 1回	
メトホルミン	60 ~ 45 (eGFR)	少量より開始し、徐々に増量する。1日最高投与量は 1500mg を目安	添付文書
	45 ~ 30 (eGFR)	治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。少量より開始し、徐々に増量。1日最高投与量は 750mg を目安	
	30 未満 (eGFR)	禁忌	
シベンゾリン	50 ~ 10	・ 50mg を1日 1回もしくは 2回 ・ 75% に減量もしくは投与間隔を 2 倍に延長	透析患者への投薬ガイドブック 第3版
	10 未満	・ 25mg を1日 1回 ・ 50% に減量もしくは投与間隔を 3 ~ 4 倍に延長	
	透析中の患者	禁忌	

おすすめの一冊

編集委員 高野 浩史

みなさん、今年は桜を楽しみましたか？あつという間に咲いて、あつという間に散ったような気がしています。

そしてGW。たまには読書でも・・・と書店に足を運んだ方もいるかもしれません。読書コミュニティに所属している私がおすすめする本をご紹介します。

1 『冒険の書 AI時代のアンラーニング』 孫 泰蔵 著

「学び」っていつからつまらないものになったんだろう・・・

好きなことだけしてたらだめ？「基本」ってそんなに大事なの？大人になった我々が子供時代感じてきた疑問。そして我が子に同じ質問をされたとき、なんと答えたらいいんだろう・・・。本書はそんな時に道しるべとなるかもしれません。

著者名 孫 泰蔵
出版社 日経 BP
初版発行日 2023/2/16
ISBN-13 978-4296000777



Amazon の URL です



2 『きこえる』 道尾 秀介 著

そのまま読んでも十分楽しめるミステリー小説。章の最後に QR コードがついていて、それを読み取ったときに流れる音声。さっきまで読んでいた内容が全く別の内容に・・・！文章、音声、動画が絶妙に絡み合った新感覚ミステリー小説です。

著者名 道尾 秀介
出版社 講談社
初版発行日 2023/11/22
ISBN-13 978-4065334546



Amazon の URL です





話題のひろば

保険薬局 匿名

新緑を眺めて春の訪れを感じるよりも早くに、体が敏感に感じ取るもの。それは花粉。

桜が咲く時期よりも早い2月頃から症状が出始めて梅雨明け頃まで続いたため、長い長い「春」を感じる暮らしを続けて20年が経ちました。

薬局の休みと病院の休みが重なるのでなかなか受診できないのは薬局勤めのあるあるだと思うのですが、悲しくも市販の薬で対応することが多いものでした。

最近ではOTCでもフェキソフェナジンやエピナスチンなどの医薬品が比較的安価で手に入るため、花粉症患者としてはありがたい世の中になりました。

オンライン診療やリフィル処方が普及するともっと助かりそうですね。今後の医療動向に期待です。



保険薬局 キムチ天津飯

「花粉症 ある？ない？」

「花粉症、あると思います！」

私、高校大学時代は春～夏にかけて症状がかなり重く、「思います」なんてものではありませんでした。

その後、体質や環境の変化か薬物療法の進化のおかげか薬を服用せずとも軽症で済む事が多くなり、症状が感じられるのは年間数日程度という状態が続いています。

ところで最近、偶然にも口腔アレルギー症候群(OAS)についての話題を目にしたたり質問をお受けしたりする事が続きました。改めて内容を確認したところ、ヨモギブタクサ花粉と交差反応性が報告されている果物・野菜にはセロリが含まれているのではないですか。

以前セロリが苦手だったのは、無意識にOASを避けていたのでしょうか。

そんなことは「ないと思います！」

ちなみに現在、セロリは問題なく食べられています。

保険薬局 ハクシオン大魔王

我が家は私と2人の子供が花粉症です。特に息子は毎年症状がひどく、アレルギー検査を受けさせたところ、スギ以上に突出して反応したのが「イネ科」でした。イネ科のアレルギーと診断され、頭をよぎった一抹の不安…それは旦那の実家！旦那の実家は専業農家で東京ドームほどの面積を誇る田と畑があるのです。しかも、イネ科のアレルゲンは「稲」というよりその辺にいっぱい生えているカモガヤやブタクサ等の「雑草」…実家周辺の土はとても品質が良く、立派な野菜が育つのですが、畑のあちらこちらに立派な雑草天国も…！

ある日、旦那の実家でアレルギーを発動した息子が半泣きでこんな言葉を放ちました。

「もう嫌だ！全部ママの遺伝のせいだ！アレルギーも、色黒も、くせ毛も！！」

「え？肌の色？髪質？」想定外の不満までぶつけられ大打撃をくらったのですが、私をはるかに上回るひどいアレルギーと手に負えないくせ毛に日々悩まされている息子に、母は返す言葉もありません。くせ毛はどうしようもないけど、せめて花粉症シーズンが早く過ぎ去りますように！（祈）



保険薬局 匿名

「花粉症ある？ない？」というテーマ。自分は小さい頃から花粉症に悩まされており間違いなくあるほう。20～30歳くらいまでがとても酷かったように感じます。よく鼻にティッシュを突っ込んで働いていました。(マスクで隠す笑)

シダキュア処方も考えていたのですが、30歳頃ダイエットを試みた時にその後なぜか症状が緩和されて体質が改善されたのかも、とか楽観的に思っていました。が、今思い返すと住んでいた地域によるのかなと。(転勤族だったので毎年引越)

自分の場合は田舎より都会に居た時が、症状が酷かった思い出。今は釜石市に移り住み、ゆったりと過ごしているので(??)そこまでひどくありません。周りを見ると杉だらけなのに不思議

テーマ：花粉症ある？ない？



議だなといつも思っています。

ネットで調べると色々情報出てきて面白い。カ
レーがいいとかシナモンがいいとか。花粉症の原
因も大分解明されてきたみたいなので今後の開発
に期待です。脱花粉症！

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

保険薬局 匿名

「今年は花粉のシーズンが始まるのも早ければ
症状もひどい。」

今年、お薬をお渡しする際に患者さんから幾度
と無くこんなセリフを聞きました。アレルギー持
ちの自分も例外ではなく、今年は花粉に悩まされ
ました。最近まで花粉症という自覚がなかったく
らいで、春もたまに鼻がムズムズするなという日
があるくらいでしたが、今年は朝に抗ヒスタミン
薬を飲み忘れた日は地獄でした。

また、ベッドのシーツを外干してしまいました
た。地獄でした。就寝中ずっと花粉に曝露されて
いるため、起きた瞬間から鼻炎・結膜炎の症状が
始まります。恐ろしいことに症状は終日続きます。
それ以降ずっと、今春シーズンの自分の洗濯物は
部屋干しです。

例年、シーズンが始まる前に今年の飛散量は昨
年度の〇〇倍ですとニュースに出ますが、私だけ
でしょうか？昨年度より少ないという報道をあま
り見たことがない気がします。

次号の「話題のひろば」のテーマは、

『縁日の思い出』です。

ご意見は県薬事務局へFAXかE-メールで。

投稿について

*ご意見の掲載に当り記銘について下記項目
からお選び、原稿と一緒にお知らせくだ
さい。

(1) 記銘について

- | | |
|---------|---------|
| ①フルネームで | ②イニシャルで |
| ③匿名 | ④ペンネームで |

(2) 所属について

- | | |
|--------|--------|
| ①保険薬局 | ②病院診療所 |
| ③一般販売業 | ④卸売販売業 |
| ⑤MR | ⑥行政 |
| ⑦教育・研究 | ⑧その他 |

*誌面の関係で掲載できない場合のあること
をご了承ください。

私なりの御朱印集め

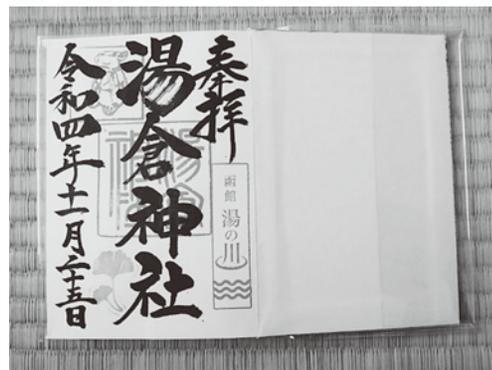
一関薬剤師会 吉田 健太郎

皆様お疲れ様です。大学時代からの友人である蛭川先生のご紹介で、今回リレーエッセイを寄稿させていただくこととなりました。拙文ではありますが、私の趣味の一つである御朱印集めについて「私なりに」書き記していきます。

はじめに御朱印集めとは何かについてですが、御朱印帳に御朱印をいただいて記録し、集めることです。それぞれ神社やお寺などで購入する物で、御朱印帳は1,000～1,500円、御朱印は300～500円が相場とされています。どちらもその神社やお寺ならではの物で、眺めるだけでも楽しめるかと思えます。ですが、御朱印は参拝の証としていただくものなので、御朱印だけもらいに行くのはもちろんNG。余談ですが、私が御朱印集めに興味を持ったきっかけはゲームです。それは日本神話をモチーフにしたゲームで、そこから日本神話に興味を持ちました。そして日本神話を調べ、そこからさまざまな地方の神様についても興味が湧き、色々な神社を訪れてみたいと思うようになりました。それがそれこそ大学生の頃の話なので、今から10年以上前のこと。ですが、実際に始めたのはここ1年くらいなのでまだまだ初心者です。ちなみに、私は特定の宗教や思想を信仰している訳ではありません。一般的な宗教観の持ち主だと思います。

私が初めて御朱印をいただいたのは函館にある湯倉神社で、御朱印帳もそこでいただきました。その湯倉神社は「白うさぎ」が印象的な可愛らしい神社でした。何故白うさぎ？と疑問に思われるかもしれませんが、それについては文字数の事情により割愛させていただきます。詳しくはwebで。御朱印集めを始めた頃の頃は、現地の説明書きなどでその神社や祀っている神様について知ることがほとんどでした。もちろんそれも楽しかったのですが、途中から神社のホームページなどで予習をしてから参拝するようになりました。予め知っているのと知らないのとでは理解の深さが違うように感じます。それに何も知らない状態で社を見るのと、ある程度知っている状態で社を見るのとでは感銘の受け方に大きな違いがありました。それが予習をするようになった大きな理由です。湯倉神社を参拝した理由は「函館旅行の道中ちょうど良く寄れそうな神社だったから」という、何とも単純なものでした。今は少しだけ変化があり、「旅行の道中ちょうど良く寄れそう、かつ、予習をして興味が惹かれた神社やお寺」を参拝しています。御朱印集めの楽しみは、御朱印を集めること、集めた御朱印を時々眺めること、御朱印を眺めながらどういった神社や神様であったかを思い返すことだと私は思っています。また、参拝をすることで私自身の精神状態が落ち着き、人には優しく接するようになりたいと思うことが以前より増えました。ですが、思うだけで実践に至らない場面も多くあるのであしからず…。

今回は趣味の一つである御朱印集めについて述べさせていただきました。ちなみに御朱印集め以外の趣味は、ゲーム、読書（小説も漫画も）、お酒（特にビールと日本酒）、バドミントン、映画鑑賞などなど。本音を申し上げますと、筆頭に挙げたゲームこそ私が最も語りた趣味ではありますが、恐らく皆様の理解は得られ難いと思い今回は断念。次点で語りた趣味が御朱印集めだったため、今回のテーマといたしました。趣味は生きていくうえで必須ではありませんが、人生を楽しく豊かに過ごすためには必要なものだと私は考えています。今後もさまざまな趣味をゆっくりじっくり長い期間をかけて「私なりに」楽しんでいきたいと思っています。



次回は盛岡薬剤師会の 高橋 宏明 先生にお願いしました。



職場紹介



シリウス薬局 (盛岡薬剤師会)

はじめまして、株式会社ライブリー シリウス薬局です。

当薬局は令和6年2月に開設しました。厨川(くりやがわ)駅西口から北へ徒歩1分に所在しています。厨川駅は「いわて IGR 銀河鉄道」線の盛岡駅から下り二駅目の駅です。西口歩行者専用地下自由通路は2013年1月7日より通行できるようになったようです。私もごく最近知りました。50年前の学生時代にはありませんでした。便利になったものです。

主に隣接する医院様からの処方箋を受け付けております。スタッフは薬剤師1名、事務1名です。開局してからまだ数か月ということで受け付け処方箋枚数は多くはありません。というか少ないです。ちなみに厨川駅の1日平均乗降人数は2,888人(2022年)で、全員来たらどうしようかとドキドキしています。

スタッフ一同、患者様からのご要望にきめ細かく対応するように心がけております。

これからは、地域の皆様の疑問や不安を少しでも取り除き、お客様との信頼関係を絆に地域に密着した親しまれる「街のかかりつけマイ薬局」を目指していきます。



〒020-0122 盛岡市みたけ 2-21-22
TEL:019-613-7151 FAX:019-613-7161

みどり薬局 (久慈薬剤師会)

みどり薬局は、先代が2004年(平成16年)にこの場所に開局され、昨年の8月に縁あって私が引き継がせていただきました。

私たちの薬局がある久慈市という街は、人口が3万4000人ほどの小さい街ではありますが、港町でありながら周囲には山々もあり、学生のころに学んだリアス式海岸の特徴を肉眼でも感じられる自然豊かなところですよ。以前NHKの「あまちゃん」のロケ地で北限の海女として全国的にも有名になりました。そして今再びブームになっていて観光される方が増えているそうです。

主に門前にある県立久慈病院や近隣のクリニックの処方せんを受けていますが、久慈市内だけではなく隣の二戸市や青森県八戸市からの患者様も来局していただいております、岩手県北部における地域医療の一端を担っていると自負しながら日々業務に従事しております。

開局時間は月曜から金曜まで午前9時から午後5時までで、土曜・日曜・祝日はお休みをいただいております。

駐車場は店舗前にあり15台分のスペースがあります。

現在は私が仙台から、管理薬剤師が栃木宇都宮から、もう一人の薬剤師が福島から、そして地元岩手から新卒薬剤師が今年4月から勤めてくれています。事務スタッフに関してはすべて地元の方に勤務していただき、他県から来た人と地元の人での調和により良い雰囲気を作れていると思っております。

これからの地域医療とは何か、患者さまにとっての調剤薬局とは何か、変わらないものや受け継がれていくもの、変わらなければ生み出せないもの、保守的と革新的、そういった相反するものを混ぜ合わせて常に薬局とはどうあるべきか、患者さまにとってのお薬とは何なのか、昨日より今日、今日より明日を目指して日々努力と模索を繰り返している毎日です。

処方せんが薬局への通行手形にならず、お薬の相談事だけではなく、日々のちょっとした悩み、あるいは雑談でもいいので少しの空き時間にお話

しに来ていただけるようなそんな場所でありたいと思います。



〒028-0014 久慈市旭町 10-32-7

TEL:0194-61-3911 FAX:0194-61-3918



会員の動き



会員の動き（令和6年3月1日～令和6年4月30日）

☆県薬（および日薬・地域薬剤師会）への入会・退会・変更について
 県薬の薬剤師向けウェブページにExcel書式・手書き用pdf書式を掲載しました。
 必要事項を入力もしくは記入した書式を、メール添付送信、FAX送信、郵送のいずれかでお送りいただくか、事務局へお持ちください。Excel書式pdf書式を使用出来ない場合には、手書き用書式を郵送いたしますので事務局までご連絡ください。登録事項に変更が生じた場合には、お早めに書類を提出していただくようお願いいたします。
 また、薬剤師賠償責任保険に加入なさっている場合には、これら書式の提出とは別の書式にて日薬へも提出する必要がありますので、詳しくは日薬ホームページ HOME > 日本薬剤師会について > 会員向け福利厚生のご案内 > 薬剤師賠償責任保険・サイバー保険 のページをご覧ください。

（3月 入会）

地域	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先 TEL	勤務先 FAX	出身校 卒業年度
盛岡	4	倉山 英美 みなみ薬局	020-0851	盛岡市向中野1丁目11-24	019-635-8561	019-635-8562	東薬大 S50
奥州	7	竹田 亜梨沙 美希病院	029-4201	奥州市前沢古城丑沢上野100	0197-56-6111	0197-56-6112	岩手医科 R02

（4月 入会）

地域	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先 TEL	勤務先 FAX	出身校 卒業年度
盛岡	6	村上 眞子 あおば薬局上田店	020-0066	盛岡市上田1丁目18-50	019-622-0370	019-622-0367	岩手医科 R01
盛岡	賛	株式会社ライブリー	024-0021	北上市上野町二丁目32番21号	0197-64-5400	0197-64-5565	
盛岡	4	石川 実菜子 イオン薬局盛岡南店	020-0866	盛岡市本宮七丁目1番1号	019-631-3716	019-631-3717	城西国際 R01
盛岡	6	宮澤 有紀 リープ薬局	020-0066	盛岡市上田1丁目1-35	019-601-3030	019-605-8282	東北薬大 H19
盛岡	6	原田 一理 アイン薬局盛岡南店	020-0831	盛岡市三本柳6-1-1	019-601-2235	019-601-2236	東北医薬 H30
盛岡	4	生駒 齊 イオン薬局盛岡店	020-0148	盛岡市前潟4丁目7-1	019-605-3730	019-605-3731	京都薬大 S62
北上	4	井上 彰 まちぶん調剤薬局	024-0083	北上市柳原町四丁目15番8号	0197-65-7810	0197-65-7820	東北薬大 H12
北上	6	都鳥 耕平 すずらん薬局	024-0072	北上市北鬼柳22地割36番地1	0197-61-2277	0197-61-2278	岩手医科 H30
奥州	4	菅野 敬一 アイン薬局胆沢店	023-0864	奥州市水沢字龍ヶ馬場27-5	0197-51-5030	0197-51-5031	撰南大 H27
奥州	6	宮澤 将之 アイン薬局江刺店	023-1103	奥州市江刺西大通り10-11	0197-31-2151	0197-31-2152	東北医薬 R01
一関	6	和田 将彌 アイン薬局東山町店	029-0302	一関市東山町長坂字町388	0191-48-4630	0191-48-4631	日大 H30

(3月 変更)

地域	氏名	変更事項	変更内容		
盛岡	工藤 紀久雄	勤務先	〒020-0146	盛岡市長橋町38番10号 サンケア薬局盛岡長橋店 電話 019-601-4777 FAX 019-601-4778	
盛岡	谷 有希菜	勤務先	〒020-0146	盛岡市長橋町38番10号 サンケア薬局盛岡長橋店 電話 019-601-4777 FAX 019-601-4778	
盛岡	佐藤 晶斗	勤務先及び地域	〒020-0834	盛岡市永井12-10 盛岡友愛病院 電話 019-638-2222 FAX 019-637-3790	旧地域： 一関
盛岡	菊池 琢登	勤務先及び地域	〒023-0864	奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地 岩手県立胆沢病院 電話 0197-24-4121 FAX 0197-24-8194	旧地域： 北上
盛岡	川口 理	勤務先	〒020-0066	盛岡市上田一丁目4-1 岩手県立中央病院 薬剤部 電話 019-653-1151 FAX 019-653-2528	
盛岡	齋藤 源太	勤務先及び地域	〒029-0131	一関市狐禅寺大平17 岩手県立磐井病院 電話 0191-23-3452 FAX 0191-23-9691	旧地域： 北上
盛岡	早坂 望	勤務先	〒028-8040	久慈市旭町第10地割1番 岩手県立久慈病院 電話 0194-53-6131 FAX 0194-52-2601	
盛岡	及川 淳	勤務先	〒023-0864	奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地 岩手県立胆沢病院 電話 0197-24-4121 FAX 0197-24-8194	
盛岡	乳井 優有夏	勤務先及び地域	〒020-0066	盛岡市上田1丁目4-1 岩手県立中央病院 電話 019-653-1151 FAX 019-653-2528	旧地域： 二戸
盛岡	古舘 美樹	勤務先	〒020-0132	盛岡市西青山2丁目4-17 西青山薬局 電話 019-601-4141 FAX 019-601-4171	
盛岡	工藤 桃子	勤務先	〒020-0066	盛岡市上田1丁目4-1 岩手県立中央病院 電話 019-653-1151 FAX 019-653-2528	
盛岡	佐々木 智広	勤務先及び地域	〒020-0066	盛岡市上田1丁目4-1 岩手県立中央病院 電話 019-653-1151 FAX 019-653-2528	旧地域： 釜石
盛岡	本間 絵里	勤務先及び地域	〒028-6100	二戸市堀野字大川原毛38-2 岩手県立二戸病院 電話 0195-23-2191 FAX 0195-23-2834	旧地域： 奥州
盛岡	菊池 優美	勤務先及び地域	〒020-0066	盛岡市上田1-4-1 岩手県立中央病院 電話 019-653-1151 FAX 019-653-2528	旧地域： 奥州
盛岡	増田 晃	勤務先及び地域	〒020-0023	盛岡市内丸11番1号 岩手県医療局業務支援課 電話 019-651-3111 FAX 019-629-6319	旧地域： 二戸
花巻	石崎 雅紗香	勤務先及び地域	〒028-0114	花巻市東和町土沢8区326番地 つくし薬局土沢店 電話 0198-41-5401 FAX 0198-41-5402	旧地域： 盛岡
花巻	佐藤 晃輔	勤務先及び地域	〒028-0523	遠野市中央通り6-15 つくし薬局遠野店 電話 0198-63-1717 FAX 0198-62-7800	旧地域： 二戸
花巻	和田 巴明	勤務先及び地域	〒025-0033	花巻市諏訪399-1 諏訪調剤薬局 電話 019-821-3303 FAX 019-821-3220	旧地域： 盛岡
北上	高橋 秀和	勤務先	〒029-0131	一関市狐禅寺字大平17番地 岩手県立南光病院 電話 0191-23-3655 FAX 0191-23-9690	
北上	若林 港	勤務先及び地域	〒024-8507	北上市村崎野17地割10番地 岩手県立中部病院 電話 0197-71-1511 FAX 0197-71-1414	旧地域： 盛岡
北上	及川 知美	勤務先	〒024-0064	北上市若宮町二丁目2番39号 さくら調剤薬局 電話 0197-63-8822 FAX 0197-63-8821	
北上	星 和樹	勤務先	〒024-0095	北上市芳町7番20号 ひまわり薬局 電話 0197-63-6877 FAX 0197-63-6879	
奥州	横山 雅年	勤務先	〒023-1131	奥州市江刺愛宕字観音堂沖401-5 横山調剤薬局 電話 0197-31-1400 FAX 0197-31-1400	
奥州	高橋 英里	勤務先及び地域	〒029-4208	奥州市前沢二十人町47番 つくし薬局前沢店 電話 0197-41-3663 FAX 0197-41-3662	旧地域： 一関
一関	佐々木 瑞季	勤務先	〒029-0803	一関市千厩町千厩草井沢32-1 岩手県立千厩病院 電話 0191-53-2101 FAX 0191-52-3478	
気仙	村上 正美	勤務先及び地域	〒029-2205	陸前高田市高田町字太田512番地2 岩手県立高田病院 電話 0192-54-3221 FAX 0192-55-5241	旧地域： 奥州
気仙	小林 裕介	勤務先及び地域	〒022-8512	大船渡市大船渡町字山馬越10番地1 岩手県立大船渡病院 電話 0192-26-1111 FAX 0192-27-9285	旧地域： 釜石
宮古	太田 匡哉	勤務先及び地域	〒027-0096	宮古市崎嶽ヶ崎第1地割11番地26 岩手県立宮古病院 電話 0193-62-4011 FAX 0193-63-6941	旧地域： 二戸

地域	氏名	変更事項	変更内容	
宮古	船越真紀	勤務先	〒027-0063 宮古市山口5-3-20 宮古山口病院 電話 0193-62-3945 FAX 0193-63-7545	
二戸	新堀聖	勤務先及び地域	〒028-6105 二戸市堀野字大川原毛51番4 つくし薬局堀野店 電話 0195-43-3145 FAX 0195-43-3146	旧地域：北上
二戸	岩間輝香	勤務先及び地域	〒028-6100 二戸市堀野字大川原毛38-2 岩手県立二戸病院 電話 0195-23-2191 FAX 0195-23-2834	旧地域：奥州

(4月 変更)

地域	氏名	変更事項	変更内容	
盛岡	高橋怜衣	勤務先	〒020-0143 盛岡市上厨川字横長根76番地4 サンケア薬局盛岡インター店 電話 019-601-9134 FAX 019-601-9174	
盛岡	松田加那子	勤務先	〒020-0024 盛岡市菜園2丁目5-29 菜園志和ビル1階 公園通薬局 電話 019-629-5656 FAX 019-626-5657	
盛岡	佐々木友理	勤務先	〒020-0121 盛岡市月が丘1丁目29番7号 月が丘薬局 電話 019-648-3939 FAX 019-648-4500	
盛岡	佐々木仁美	勤務先	〒028-3603 紫波郡矢巾町西徳田5地割1-1 きのりの調剤薬局 電話 019-698-4193 FAX 019-698-3331	
盛岡	鈴木可奈子	勤務先	〒020-0141 盛岡市中屋敷町1-33 みつや薬局 電話 019-648-6060 FAX 019-645-7676	
盛岡	久保さやか	勤務先	〒020-0871 盛岡市中ノ橋通2-2-13 まごごろ薬局 電話 019-606-1231 FAX 019-606-1232	
盛岡	伊藤圭太	勤務先及び地域	〒020-0066 盛岡市上田1丁目4番1号 岩手県立中央病院 電話 019-653-1151 FAX 019-653-2528	旧地域：花巻
盛岡	中神力嗣	勤務先	〒020-0503 岩手郡雫石町七ツ森16番地243 いわてリハビリテーションセンター 電話 019-692-5800 FAX 019-692-5807	
北上	三浦清彦	勤務先及び地域	〒024-0061 北上市大通り1丁目1-22 北上駅前病院 電話 0197-72-7787 FAX 0197-62-7710	旧地域：奥州
奥州	齋藤妙子	勤務先	〒023-1103 奥州市江刺西大通り5-23 岩手県立江刺病院 電話 0197-35-2181 FAX 0197-35-0530	
奥州	小柳佑司	勤務先及び地域	〒023-0864 奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地 岩手県立胆沢病院 電話 0197-24-4121 FAX 0197-24-8194	旧地域：盛岡
一関	下杉彩弥香	勤務先	〒029-0711 一関市大東町大原川内128 岩手県立大東病院 電話 0191-72-2121 FAX 0191-72-2897	
一関	和賀信継	勤務先及び地域	〒029-0803 一関市千厩町千厩字草井沢32番地1 岩手県立千厩病院 電話 0191-53-2101 FAX 0191-52-3478	旧地域：気仙
一関	佐々木保之	勤務先及び地域	〒029-0803 一関市千厩町千厩字石堂13-13 つくし薬局千厩店 電話 0191-48-4172 FAX 0191-48-4173	旧地域：二戸
一関	伊藤淳哉	勤務先	〒023-0864 奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地 岩手県立胆沢病院 電話 0197-24-4121 FAX 0197-24-8194	
一関	尾形由紀	勤務先	〒029-0192 一関市狐禅寺字大平17番地 岩手県立磐井病院 電話 0191-23-3452 FAX 0191-23-9691	
一関	山田雅宏	勤務先	〒029-0131 一関市狐禅寺字大平17 岩手県立磐井病院 電話 0191-23-3452 FAX 0191-23-9691	
気仙	鈴木美彩	氏名	旧姓：高橋	
気仙	石塚南実	勤務先および氏名	〒028-0115 花巻市東和町安俣6区75-1 岩手県立東和病院 電話 0198-42-2211 FAX 0198-42-4417 旧姓：神田	
気仙	千田泰太郎	地域		旧地域：釜石
釜石	福島真実	勤務先及び地域	〒026-0055 釜石市甲子町第10地割183-6 岩手県立釜石病院 電話 0193-25-2011 FAX 0193-23-9479	旧地域：気仙
二戸	平船浩人	勤務先	〒028-5312 二戸郡一戸町一戸字砂森60-1 岩手県立一戸病院 電話 0195-33-3101 FAX 0195-32-2171	
二戸	工藤遥	勤務先	〒028-6193 二戸市堀野大川原毛38-2 岩手県立二戸病院 電話 0195-23-2191 FAX 0195-23-2834	

3月退会

(盛岡) 小沢 美紀、吉田 真理子、山蔭 英也、小松 絢子、帝人ヘルスケア株式会社、角張 祐斗、千葉 和久、田中 紘一、伊藤 崇、千葉 侑希、奥 尚、只野 統一、小松 洋平、浜口 誠洋
(奥州) 初貝 朋子、長谷部 輝 (北上) 和田 華弥 (一関) 熊谷 敏宏 (気仙) 若林 宣彦
(久慈) 村松 亘、村松 あけみ、千田 幸美 (二戸) 平船 智子

4月退会

(盛岡) 加藤 樹、高橋 由人、伊藤 尚子、浜口 隆一、滝本 新、高松 祐実、金子 正廣、佐藤 美咲 (花巻) 佐藤 育夫 (奥州) 中村 長武、榊 勉 (一関) 日野 溪也
(気仙) 高橋 朋子、名古屋 茜 (二戸) 川村 久代、長嶋 昭人

訃 報

盛岡薬剤師会 浜口 誠洋 様 令和6年3月18日ご逝去
奥州薬剤師会 中村 長武 様 令和6年4月19日ご逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会 員 数

	正 会 員	賛助会員	合 計
令和6年4月30日現在	1,674名	72名	1,746名
令和5年4月30日現在	1,716名	74名	1,790名



保険薬局の動き

新たに指定された保険薬局

地域名	指定年月日	薬局名称	開設者名	〒	住所	TEL
盛岡	R6.04.01	銀河調剤あおい薬局	佐野 元彦	020-0066	盛岡市上田4-20-60	019-604-7103
盛岡	R6.04.01	銀河調剤こなん薬局	佐野 元彦	020-0102	盛岡市上田字松屋敷23-3	019-664-1115
盛岡	R6.04.01	銀河調剤ミルマエ薬局	佐野 元彦	020-0831	盛岡市三本柳12-21-4	019-614-0071
盛岡	R6.04.01	銀河調剤オトベ薬局	佐野 元彦	020-0403	盛岡市乙部13-135-1	019-675-1151
盛岡	R6.05.01	道明薬局	田屋 博美	020-0851	盛岡市向中野道明19-1	019-656-7092



求人情報



受付年月日	種別	求人者名・施設名	就労場所	連絡先		区分	勤務時間		休日
				ご担当者			平日	土曜日	
R6.5.15	病院	社会医療法人みやま会 盛岡観山荘病院	盛岡市高松四丁目 20番40号	019-661-2685 事務局長 吉田 与末	常時 パート	8:30~17:00	8:30~12:30	日曜、祝日、他	
R6.5.15	病院	盛岡医療生活協同組合 川久保病院	盛岡市津志田26- 30-1	019-635-1305 事務長 片方 直樹	常時	8:45~17:15	8:45~12:30	土曜、日曜、祝 日、年末年始	
R6.5.15	病院	栢内病院	盛岡市西仙北一丁 目15-7	019-681-3575 事務部長 金野 靖	常時	8:30~17:00	8:30~12:30	日曜、祝日、他 (4 週6休シフト制)、夏 期休暇、年末年始	
R6.5.15	保険薬局	こずかた薬局	盛岡市上田1丁目 7-17	019-654-7722 代表取締役 佐藤 昌作	常時 パート	9:00~18:00	9:00~13:00	日曜、祝日、他 3回/月、お盆、 年末年始	
R6.5.15	保険薬局	サンケア薬局盛岡 長橋店	盛岡市長橋町38番 10号	019-601-4777 工藤 紀久雄	常時 パート	8:45~18:30	8:45~13:30	木曜、日曜、祝 日、他、年末年 始、夏季休暇	
R6.5.15	保険薬局	たんぽぽ薬局桜城店	盛岡市中央通三丁 目14-4-101	019-626-1121 北田 克文	パート	9:00~17:00 (水)	9:00~13:00 (月2回)	日曜、祝日、他	
R6.5.15	保険薬局	リーフ薬局	盛岡市向中野3-10-10	019-656-5877 代表取締役 佐藤 香紀	パート	週2日~4日の 4~8時間程度		日曜、祝日	
R6.5.15	保険薬局	あざみ薬局本宮店	盛岡市本宮2丁目 20-18	019-639-8706 武田 康子	常時	8:30~17:30	8:30~12:30	日曜、祝日	
R6.5.15	保険薬局	永井中央薬局	盛岡市永井19地割 253番地1	019-605-7050 代表取締役 井口 かなな	常時 パート	9:00~18:30 (木9:00~17:00)	9:00~13:00	第4土曜、日曜、 祝日、他、夏季 休暇、年末年始	
R6.5.15	病院	医療法人社団松誠会 滝沢中央病院	滝沢市鶴飼笹森42 番地2	019-613-3081 次長 中村 三奈江	常時	8:30~17:15	8:30~12:30	第2土曜、日曜、 祝日、他、夏季 休暇、年末年始	
R6.5.15	病院	医療法人社団松誠会 滝沢中央病院	滝沢市鶴飼笹森42 番地2	019-613-3081 次長 中村 三奈江	パート	8:30~17:00 (4時間以上)	8:30~12:30	第2土曜、日曜、 祝日、他、夏季 休暇、年末年始	
R6.5.15	医薬品製造販売業	シミックCMO(株) 西根工場	八幡平市大更第2 地割154-13	0195-76-5184 人事総務課課長 杉澤 勝洋	常時	8:30~17:30		土曜、日曜、祝 日、夏季休暇、 年末年始	
R6.5.15	病院	南昌病院	矢巾町広宮沢1-2- 181	019-697-5211 総務課主任 北館 和義	常時	8:30~17:15		土曜、日曜、祝 日、お盆、年末 年始	
R6.5.15	病院	南昌病院	矢巾町広宮沢1-2- 181	019-697-5211 総務課主任 北館 和義	パート	8:30~17:00 (6時間程度)		土曜、日曜、祝 日、他	
R6.5.15	保険薬局	こずかた薬局 やはば店	矢巾町大字南矢幅 第9地割字田中195 番地	019-654-7722 代表取締役 佐藤 昌作	常時 パート	9:00~18:00	9:00~13:00	日曜、祝日、他	
R6.5.15	保険薬局	ミドリ薬局 日詰店	紫波町日詰駅前一 丁目8-4	019-671-1203 金子 和子	パート	8:30~16:00 (4~6時間) (木曜休み可)	8:30~12:30	日曜、祝日、他	
R6.5.15	保険薬局	有限会社 薬師会 (こしおう薬局)	花巻市高木第18地 割69-1	019-676-5010 取締役 曾我部 光弘	パート	8:30~17:30 (水8:30~12:30)	8:30~12:30	日曜、祝日、他、 年末年始	
R6.5.15	保険薬局	パール薬局	花巻市西大通り二 丁目22-17	0198-22-3517 氏家 道子	常時	8:30~18:30 (木8:30~13:00)	8:30~13:00	日曜、祝日、他	

受付年月日	種別	求人者名・施設名	就労場所	連絡先	区分	勤務時間		休日
				ご担当者		平日	土曜日	
R6.5.15	病院	遠野はやちねホスピタル	遠野市青笹町中沢5地割5番地	0198-62-2026 事務長 宮澤 秀紀	常時	8:30～17:15		土曜、日曜、祝日、他、年末年始、開院記念日
R6.5.15	保険薬局	有限会社かたくり薬局(かたくり薬局)	北上市大通り4丁目3-1	0197-61-3351 取締役 本田 昭二	パート	応相談	応相談	火曜、日曜、祝日
R6.5.15	保険薬局	サンテア薬局県立中部病院前店	北上市村崎野17地割167-1	019-601-4777 工藤 紀久雄	常時	8:30～18:00	8:30～13:00	日曜、祝日、他
R6.5.15	保険薬局	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社(リリイ薬局北上店)	北上市飯豊20地割123-1	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～18:00 (8時間程度) (水9:00～12:30)	9:00～12:30	日曜、祝日、他
R6.4.22	その他 (品質改善業務)	株式会社エイアンドティー	奥州市江刺岩谷堂字松長根63-2(江刺中核工業団地)	080-9369-5309 寺澤 萌音	常時	8:30～17:05		土曜、日曜、祝日
R6.5.15	保険薬局	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社(リリイ薬局水沢店)	奥州市水沢真城字杉山下70-3	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～19:00 (8時間程度)	9:00～13:00	木曜、日曜、祝日
R6.5.15	保険薬局	有限会社 創志白澤会(かたくり薬局)	一関市上坊6-36	0191-31-1771 代表取締役 小笠原 慈夫	常時	9:00～18:00	9:00～13:00	日曜、祝日、他、年末年始、夏季休暇
R6.5.15	保険薬局	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社(千厩調剤薬局)	一関市千厩町千厩字草井沢43-1	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～18:00 (8時間程度)	9:00～12:00	日曜、祝日、他
R6.5.15	保険薬局	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社(リリイ薬局藤沢店)	一関市藤沢町藤沢字町裏180-2	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～18:30 (8時間程度)	9:00～13:00	日曜、祝日、他
R6.5.15	保険薬局	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社(つばき薬局)	大船渡市盛町字内ノ目3-17	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～18:30 (8時間程度)	9:00～12:00	日曜、祝日、他
R6.5.15	保険薬局	健康堂薬局駅前店 健康堂薬局小山田店 健康堂薬局栄町店 ※いずれかに勤務	宮古市栄町2-4 宮古市小山田2-7-70 宮古市栄町1-62	0193-62-3311 城内 裕子	常時	9:00～17:30	9:00～13:00	日曜、祝日
R6.5.15	保険薬局	有限会社 ミドリ薬局	宮古市実田二丁目5-9	0193-62-0012 取締役 安見 一幸	常時	8:30～18:00 (木8:30～16:00)	8:30～12:30	日曜、祝日、他
R6.5.15	保険薬局	木いちご薬局	二戸市石切所字森合31	0195-23-1539 渡邊 幸弘	常時	8:45～17:45	8:45～13:45	木、金曜日のいずれかと日、祝日(週休2.5日)

■岩手県薬剤師会における【薬剤師無料職業紹介所】は、令和4年3月末日をもって終了いたしました。今後は求人情報のみの掲載とさせていただきますので、求職ご希望の方は、求人先へ直接ご連絡お願いいたします。
なお、求人情報の掲載をご希望の方は、岩手県薬剤師会事務局までご連絡ください。



No.	図書名	発行	判	型	定価	会員価格
1.	「OTC医薬品事典 第19版」	じほう	A5判	1,038頁	7,480円(税込)	6,490円(税込) (本体 5,900円)

※なおインボイス制度開始に伴い、税込請求金額には端数処理により数円の差異が生じることがございますのでご注意ください。

送料 No.1について

- ①県薬及び地域薬剤師会に送付の場合無料。
- ②個人の場合10冊以上を一括同一箇所へ送付する場合は無料。
1～9冊までは、1回の発送につき一律550円（税込）。

☆図書の購入申し込みは、専用の申し込み用紙で、県薬事務局までFAXして下さい。
専用の申し込み用紙は、県薬ホームページ会員のページからダウンロードしてご利用下さい。
県薬ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>
会員のページ ユーザー名 iwayaku
パスワード ipa2210

編集後記

GWはどのようにすごしましたか？今年休み方次第で8月には10連休、年末年始にかけては8連休と長期のお休みがとれそうです。

いざ何かをしようかと思っても、なかなか行動が伴わず、だらだらと規則正しい生活とはかけ離れ、連休が終わる頃には、曜日の感覚も時間の感覚も無くなって「現実に戻りたくない！」と心の中で叫んでいそうです。

イーハトーブに「おすすめの一冊」というコーナーがあります。前号で紹介された本は、個人的に書店でみかけて気になっていた本だったので連休中に読破しました。おすすめの一冊でした。

皆さんのおすすめがあれば、教えて下さい。お待ちしております。(編集委員 川目 聖子)

・ ・ ・ ・ ・ お知らせ ・ ・ ・ ・ ・

(一社) 岩手県薬剤師会ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

「会員のページ」ユーザー名 iwayaku

パスワード ipa2210

「イーハトーブ」は、会員相互の意見や情報の交換の場です。

会員の皆様からの投稿・意見・要望をお待ちしております。

投稿・意見・要望あて先 県薬事務局 TEL 019-622-2467 FAX 019-653-2273

e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

(アイ・ピー・エー・イチ・エイチ・イー・エー・ディー)

表紙の写真

軽米町で撮影しました。

ピンクのチューリップの花言葉は、「誠実な愛」、「労い」だそうです。

患者さんに愛を持って寄り添いながら、スタッフ間のコミュニケーションを大事にしてお仕事をしていきたいですね。(嶋村 悠実)

編 集 担当副会長 金澤貴子
 担当理事 高林江美、川目聖子、高橋めぐみ、高橋さくら、佐藤明美
 編集委員 川目聖子、高野浩史、安倍 奨、佐々木拓弥
 地域薬剤師会編集委員 高野浩史(盛岡)、高橋めぐみ(花巻)、佐藤慎平(北上)、
 千葉千香子(奥州)、村上達郎(一関)、金野良則(気仙)、
 多田光知子(釜石)、高濱志保、道又 翔(宮古)、新渕純司(久慈)、
 金澤 悟(二戸)

イーハトーブ～岩手県薬剤師会誌～ 第103号

第103号(奇数月1回末日発行)

令和6年5月30日 印刷

令和6年5月31日 発行

発行者 一般社団法人 岩手県薬剤師会

会長 畑澤博巳

発行所 一般社団法人 岩手県薬剤師会

〒020-0876 盛岡市馬場町3番12号

TEL (019) 622-2467 FAX (019) 653-2273

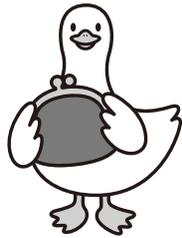
e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

印刷所 杜陵高速印刷株式会社

〒020-0811 盛岡市川目町23番2号

TEL (019) 651-2110 FAX (019) 654-1084

がんを含む
病気やケガの備えに



手軽に備える医療保険
EVER
シンプル

No.1 アフラック
がん保険・医療保険
保有契約件数
令和4年版 インシュアランス生命保険統計号



心配な
「がん」の
備えに

●契約年齢●
0歳～
満85歳まで

※ご契約内容により異なります。

「生きる」を創る
がん保険

WINGS

必要な保障だけ手軽に備える、自由に選べる医療保険

治療費と諸経費に備える基本保障に加えて、
特約で三大疾病^(※1)への備えも

▼基本プラン

		保険期間
月額保障 治療費	治療給付金 病気・ケガによって、つぎのいずれかに該当したとき 入院 4か月型^(※2) 入院をしたとき 入院中の手術 月数無制限 入院中に手術を受けたとき 放射線治療 月数無制限 放射線治療を受けたとき 外来手術 月数無制限 外来によって手術を受けたとき	いずれかに該当した月ごとに1回 同月内に複数の支払事由に該当した場合でも、重複してお支払いしません。 10万円 外来手術のみに該当した月の場合 2.5万円
	疾病入院給付金 災害入院給付金	病気・ケガによって入院をしたとき 1日につき 5,000円
	通院給付金^(※3)	入院・手術・放射線治療の前後に、病気・ケガの治療を目的とする通院をしたとき 1日につき 5,000円 住診、訪問診療、オンライン診療および電話診療も保障
日額保障 諸経費		終身

🔗 ニーズに応じて付加できます。

三大疾病保険料払込免除特約 (上皮内新生物保障特約付き) 免除事由に該当したとき以後の保険料はいただきません(保障は継続します)

(※1)がん(悪性新生物)、心疾患、脳血管疾患 (※2)支払事由のうち、入院のみに該当した月は、1回の入院についての治療給付金をお支払いする月数に限度(4か月)があります。また、治療給付金の支払限度の型は、1か月型をお選びいただくこともできます。(※3)ご希望により、取り外すことができます。△三大疾病保険料払込免除特約のがん(悪性新生物)・上皮内新生物の保障開始まで、3か月の待ち期間(保障されない期間)があります。※ご希望により、記載以外の給付金額の設定などができます。

🔗 月払保険料例 個別取扱

保険料払込期間:終身 治療給付金の支払限度の型:4か月型
<三大疾病保険料払込免除特約(上皮内新生物保障特約)>付き
<手術・放射線治療不担保特約>なし <入院給付金不担保特約>なし
<健康祝金特約>なし 定額タイプ

契約日の満年齢	20歳	30歳	40歳	50歳
男性	2,597円	3,332円	4,901円	8,351円
女性	3,091円	3,998円	4,632円	6,742円

2023年9月19日現在

幅広い保障で経済的負担をサポートするがん保険

治療前の検査から治療後の外見ケアまで
幅広い保障でしっかり備えることができます。

▼治療前の保障

		保険期間
精密検査	要精検後精密検査給付金 ^(※4)	検診ごとに1年に1回 2万円 ^(※5) 10年満期

▼治療中の保障

診断	診断給付金	一時金として がん 50万円 上皮内新生物 5万円	終身 ^(※7)
	特定診断給付金 ^(※6)	一時金として がん 50万円	
	複数回診断給付金	1回につき がん 50万円 上皮内新生物 5万円	
入院	入院給付金	1日につき 10,000円	終身 ^(※7)
通院	通院給付金	1日につき 10,000円	
治療	治療給付金	受けた月ごと 10万円 ホルモン剤治療のみの場合 5万円	終身 ^(※7)
	特定保険外診療給付金 ^{(※6)(※8)}	受けた月ごと 50万円	
	がんゲノムプロファイリング検査給付金 ^(※6)	受けた月ごと 10万円 ^(※5) 10年満期	
先進医療・患者申出療養	がん先進医療・患者申出療養給付金 ^(※6)	自己負担額と同額(通算2,000万円まで)	終身 ^(※7)
	がん先進医療・患者申出療養一時金 ^(※6)	一時金として1年に1回 15万円	

🔗 さらにニーズにあわせて特約を付加して、保障を強化

外見ケア	〈外見ケア特約〉 外見ケア給付金 ^(※6)	①顔・頭部の手術②手足の切断術 ③頭髪の脱毛症状 1回限り 20万円 ^(※5) 10年満期
------	-------------------------------------	---

特定保険料払込免除特約^(※6) 免除事由に該当したとき以後の保険料はいただきません(保障は継続します)

(※4)所定のがんの検診を受診し、医師の要精密検査の判定により精密検査を受けたときにお支払いします。(※5)所定の年齢まで10年ごとに更新があります。(※6)上皮内新生物は、保障の対象外です。(※7)治療給付金(がん治療保障特約)は、保険期間10年をお選びいただくこともできます。(※8)がん診療連携拠点病院等において、公的医療保険制度の対象とならない所定の手術・放射線治療・抗がん剤治療・ホルモン剤治療を受けたときにお支払いします。△保障開始まで3か月の待ち期間(保障されない期間)があります。※ご希望により、記載以外の給付金額の設定などができます。

🔗 月払保険料例 個別取扱

解約払戻金なしタイプ 保険料払込期間:保険期間と同一
<外見ケア特約><特定保険料払込免除特約>付き 定額タイプ

契約日の満年齢	20歳	30歳	40歳	50歳
男性	2,866円	3,949円	5,766円	8,730円
女性	3,189円	4,302円	5,922円	7,162円

※更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

2023年9月19日現在

●「先進医療」および「患者申出療養」は、厚生労働大臣が定める医療技術です。これらは医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状など)および実施する医療機関が限定されています。また、医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

ナカイ株式会社 盛岡支店 ナカイ 保険

〒020-0025 盛岡市大沢川原3丁目8-40 パレスこずかた橋1F
TEL:019-652-3261(代) FAX:019-652-3275

フリーダイヤル(通話料無料)



0120-523-261

受付時間/9:00~18:00(土・日・祝除く)

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック 盛岡支社

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス15F
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター 0120-5555-95

P23159 AF ツール-2023-0324-2308030 8月14日

感染対策をしっかりとしましょう



®わんこきょうだい